

目次

- 第1章 目的及び使命（第1条）
- 第2章 学科、修業年限及び収容定員（第2条—第4条）
- 第3章 学年、学期及び休業日（第5条—第7条）
- 第4章 教育課程及び履修方法（第8条—第19条）
- 第5章 卒業及び学位（第20条・第21条）
- 第6章 入学、退学、休学、転学、留学及び除籍（第22条—第40条）
- 第7章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料（第41条—第55条）
- 第8章 科目等履修生、特別聴講学生及び研究生（第56条—第58条）
- 第9章 外国人留学生（第59条）
- 第10章 公開講座（第60条）
- 第11章 学寮、女子寮及び厚生施設（第61条）
- 第12章 賞罰（第62条—第64条）
- 第13章 職員組織（第65条）

附則

第1章 目的及び使命

（目的及び使命）

第1条 室蘭工業大学（以下「本学」という。）は、教育基本法並びに学校教育法に則り、高い知性と豊かな教養を備えた有能な人物を養成するとともに、高度の工業的知識及び技術の教授並びに学術の研究を為することを目的とし、科学文化の向上発展並びに産業の興隆に寄与し、もって世界の平和と人類の福祉に貢献することを使命とする。

第2章 学科、修業年限及び収容定員

（学部及び学科）

第2条 本学に理工学部を置き、次の学科を置く。

創造工学科

システム理化学科

2 前項の学科に、学生の教育上の区分として、次のコースを置く。

昼間に授業を行うコース（以下「昼間コース」という。） 全学科

主として夜間に授業を行うコース（以下「夜間主コース」という。）

創造工学科

3 第1項の学科に、履修上の区分として、コースを置く。

（学科の教育目的）

第2条の2 学科の教育目的は、別表第1のとおりとする。

（修業年限及び在学期間）

第3条 本学の修業年限は4年とする。

2 在学期間は、通算して8年を超えることはできない。ただし、第26条から第28条までの規定により入学した学生は、第30条により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

（収容定員）

第4条 本学の収容定員は、次のとおりとする。

	入学定員	3年次編入学定員	総定員
創造工学科			
昼間コース	325名	25名	1,350名
夜間主コース	40名		160名
システム理化学科			
昼間コース	235名	15名	970名

合計	600名	40名	2,480名
----	------	-----	--------

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第5条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第6条 学年を2期に分け、4月1日から9月30日までを前期、10月1日から翌年3月31日までを後期とする。

(休業日)

第7条 休業日を次のとおり定める。ただし、第4号の期間は、毎年度学年暦により定めるものとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 本学の開学記念日 5月22日
 - (4) 春期、夏期及び冬期休業期間
- 2 前項に定めるもののほか、臨時の休業日及び休業日変更は、その都度学長が定める。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学長が必要と認める場合には、休業期間中に授業を行うことができる。

第4章 教育課程及び履修方法

(教育課程)

第8条 本学の教育課程は、専門教育課程、一般教養教育課程及び教職課程とする。

(専門教育課程)

第9条 専門教育課程の授業科目、単位数、履修方法等は、別表第2のとおりとする。

(一般教養教育課程)

第10条 一般教養教育課程の授業科目、単位数、履修方法等は、別表第3のとおりとする。

(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)

第11条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 教職課程の授業科目、単位数、履修方法等は、別表第4のとおりとする。
- 3 本学理工学部において取得できる教育職員の免許状の種類及び教科は、次のとおりとする。

区分	種類	教科
創造工学科昼間コース	高等学校教諭一種免許状	工業
システム理化学科昼間コース		理科、数学

(授業の方法)

第12条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

(単位の計算方法)

第13条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外の必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間又は30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については、30時間又は45時間の授業をもって1単位とする。

(履修)

第14条 授業科目は、当該担当教員が、修学終了を証明したとき、履修したものとする。

(単位の授与)

第15条 履修した授業科目については、試験を行い、合格した者に所定の単位を与える。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第16条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学（以下「他大学等」という。）との協議に基づき、学生が当該他大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が第39条第1項の規定により留学する場合、学生が休学期間中に外国の大学又は短期大学において授業科目を履修する場合及び外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

3 前2項の規定により、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、合計60単位を超えないものとする。

(大学院授業科目の履修)

第16条の2 教育上有益と認めるときは、所属学科長の推薦及び当該授業科目を開設する専攻長の承認に基づき、学生は進学を志望する本学大学院の授業科目を履修することができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第17条 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項の規定により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第18条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学（外国の大学及び短期大学を含む。）において履修した授業科目について修得した単位（大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、再入学及び転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第16条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(規則等への委任)

第19条 授業、履修、試験、他大学等における授業科目の履修等、大学以外の教育施設等における学修、入学前の既修得単位等の認定等に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 卒業及び学位

(卒業)

第20条 本学に修業年限（第26条から第28条までの規定により入学した者については、第30条により定められた在学すべき年数）以上在学し、所定の単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 前項の規定により卒業の要件として修得すべき単位数のうち、第12条第2項の授業の方法により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

(学位)

第21条 本学を卒業した者に学士の学位を授与する。

2 学士の学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

第6章 入学、退学、休学、転学、留学及び除籍

(入学の時期)

第22条 入学の時期は、毎学年の始めとする。

(入学資格)

第23条 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの
(入学の出願)

第24条 本学への入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて、所定の期日までに提出しなければならない。

(入学者の選考)

第25条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(編入学)

第26条 次の各号のいずれかに該当する者で、本学に編入学を志願する者があるときは、選考の上、3年次に入学を許可する。

- (1) 短期大学及び高等専門学校を卒業した者
- (2) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者
- (3) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者
- (4) 学士の学位を有する者

(再入学)

第27条 本学に1年以上在学し、第33条の規定により退学した者で、再入学を志願する者があるときは、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

(転入学)

第28条 他の大学に1年以上在学している者で、本学に転入学を志願する者があるときは、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

(転学科)

第29条 一の学科の学生であって他の学科に転学科を志願する者があるときは、選考の上、相当年次に転学科を許可することがある。

2 前項の規定により転学科を許可された者に関し必要な事項は、別に定める。

(編入学、再入学及び転入学の修業年限等)

第30条 第26条から第28条までの規定により入学した者の在学すべき年数その他必要な事項は、別に定める。

(入学手続)

第31条 選考の結果に基づき合格の通知を受けた者（第29条の規定により転学科を許可された者を除く。）は、所定の期日までに、誓約書、保証書その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付しなければならない。ただし、入学料の免除又は徴収猶予の申請をした者にあつては、別に定めるところにより入学料の納付を猶予される。

2 学長は、前項の入学手続をした者に入学を許可する。

(保証人)

第32条 保証人は、独立の生計を営み、確実に保証人の責任を果すことのできる成年者でなければならない。

2 保証人が死亡し、又は前項の資格を失つたときは、遅滞なく新たに保証人を立て、届け出なければならない。

(退学)

第33条 学生が退学しようとするときは、理由を具した保証人連署の願書を提出し、学長の許可を得なければならない。

(休学)

第34条 学生が病気その他やむを得ない事由で、3か月以上修学できない場合は、保証人連署の願書を提出し、学長の許可を得て休学することができる。

2 病気による場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

3 学長は、必要と認めるとき、学生に休学を命ずることがある。

(休学期間)

第35条 休学期間は、1年以内とする。ただし、病気による休学にあつてはその病状により1年を限つてこの期間を延長することができる。

2 休学期間は通算して4年を超えることはできない。

3 休学期間は、これを在学期間に算入しない。

(復学)

第36条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第37条 学生が、他の大学に転学を志願するときは、あらかじめ学長の許可を受けなければならない。

(他大学等への入学)

第38条 学生が他の大学又は本学の他の学科に入学を志願するときは、あらかじめ学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第39条 学生が外国の大学又は短期大学で修学しようとするときは、保証人連署の願書を提出し、学長の許可を得て留学することができる。

2 留学期間は、1年以内とする。

3 留学期間は、第20条に定める在学期間に算入する。

(除籍)

第40条 次の各号のいずれかに該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

(1) 入学料の免除若しくは徴収猶予の不許可又は半額免除若しくは徴収猶予の許可を受けた者で、所定の期日までに入学料を納付しない者

(2) 所定の期日までに授業料を納付せず、督促してもなお納付しない者

(3) 第3条第2項に定める在学期間を超えた者

(4) 第35条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(5) 病気、その他の理由により修学の見込みがないと認められる者

(6) 長期間にわたり行方不明の者

第7章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料

(検定料、入学料、授業料及び寄宿料)

第41条 検定料、入学料、授業料及び寄宿料の額及び収納方法については、別に定めるところによる。

(編入学等の場合の授業料)

第42条 第26条から第28条までの規定により入学した者の授業料は、入学した年次の在学者に係る額と同額とする。

(中途入学者の授業料)

第43条 入学者の責に属さない事情により、入学の時期が授業料の納期後であった者は、入学した月から次の期前までの授業料を入学した月に納付しなければならない。

(休学及び復学の場合の授業料)

第44条 休学を許可された者又は命ぜられた者には、その期に係る授業料について休学した日の属する月の翌月(その日が月の初日であるときは、その日の属する月)からその休学期間中に係る額を免除することができる。

2 前期又は後期中途において復学した者は、復学した月から次の期前までの授業料を復学した月に納付しなければならない。

(留学の場合の授業料)

第45条 第39条第1項の規定による留学を許可された者は、留学期間中の授業料を納付しなければならない

ない。

(停学の場合の授業料)

第46条 停学を命ぜられた者は、停学期間中の授業料を納付しなければならない。

(退学及び除籍の場合の授業料等)

第47条 前期又は後期中途で退学を許可され、若しくは命ぜられた者又は除籍された者は、その期の授業料を納付しなければならない。ただし、第40条第1号、第2号及び第6号の規定により除籍された場合及び死亡した場合は、未納の授業料を免除することができる。

2 前項ただし書の規定は、寄宿料について準用する。

(中途卒業者の授業料)

第48条 学年の途中で卒業する見込みの者は、在学予定期間に応じて算出した授業料を当該期間の当初の月に納付しなければならない。

(研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の授業料等)

第49条 研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の検定料、入学料及び授業料の額及び収納方法等に関し必要な事項は、別に定める。

(公開講座講習料)

第50条 公開講座講習料の額及び収納方法等に関し必要な事項は、別に定める。

(入学料の免除等)

第51条 特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、入学料の全額又は半額を免除することができる。

(入学料の徴収猶予)

第52条 経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、又は、特別な事情により納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者、その他やむを得ない事情があると認められる者に対し、入学料の収納を猶予することができる。

(授業料の免除等)

第53条 経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀な者又はその他やむを得ない事情があると認められる者には、授業料の全額若しくは半額を免除し、又は収納を猶予することができる。

(入学料、授業料及び寄宿料の免除等)

第54条 入学料、授業料及び寄宿料の免除等に関し必要な事項は、別に定める。

(納付済みの授業料等)

第55条 納付済みの検定料、入学料、授業料及び寄宿料は、返還しない。

2 前項の規定にかかわらず、出願書類等による選抜（以下この項において「第一段階目の選抜」という。）を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜（以下この項及び次項において「第二段階目の選抜」という。）を行う場合、第一段階目の選抜の不合格者については、申出があった場合に限り、本学が別に定める第二段階目の選抜に係る検定料の額を返還するものとする。

3 第1項の規定にかかわらず、大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者については、申出があった場合に限り、本学が別に定める第二段階目の選抜に係る検定料の額を返還するものとする。

4 第1項の規定にかかわらず、前期に係る授業料徴収のときに後期に係る授業料を併せて納付した者が後期に係る授業料の徴収時期前に休学又は退学した場合には、納付した者の申出により後期に係る授業料相当額を返還するものとする。

5 第1項の規定にかかわらず、入学を許可するときに授業料を納付した者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還するものとする。

6 第1項の規定にかかわらず、当月分の寄宿料納付の当該年度内における翌月以降分の寄宿料を併せて納付した者が、途中退寮した場合には、納付した者の申出により退寮した翌月以降の寄宿料相当額を返還するものとする。

7 第1項の規定にかかわらず、入学検定料免除申請書を受理し許可した場合には、検定料を納付した者に当該検定料相当額を返還するものとする。

8 前項の入学検定料免除に関し必要な事項は、別に定める。

第8章 科目等履修生、特別聴講学生及び研究生

(科目等履修生)

第56条 本学の学生以外の者で、本学が開講する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者が
あるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることがある。

2 前項の単位の授与については、第15条の規定を準用する。

3 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第57条 他の大学、短期大学又は高等専門学校及び外国の大学又は短期大学の学生で、本学において授
業科目を修得することを志願する者があるときは、当該大学等との協議に基づき、特別聴講学生とし
て入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に関する必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第58条 本学において、特定の研究課題について研究することを志願する者があるときは、選考の上、
研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 外国人留学生

(外国人留学生)

第59条 外国人で、大学において教育を受け又は研究をする目的をもって入国し、本学に入学を志願す
る者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 前項の外国人留学生は、本学の収容定員の枠外とする。

3 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 公開講座

(公開講座)

第60条 本学に、公開講座を設ける。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 学寮、女子寮及び厚生施設

(学寮、女子寮及び厚生施設)

第61条 本学に、学寮、女子寮及び厚生施設を置く。

2 学寮、女子寮及び厚生施設に関し必要な事項は、別に定める。

第12章 賞罰

(表彰)

第62条 学長は、次の各号のいずれかに該当する学生に対して、これを表彰することがある。

(1) 学業成績の優秀な者

(2) 研究の業績顕著な者

(3) その他学生の模範となる行為のあった者

(懲戒)

第63条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学
長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 正当の理由がなくて出席常でない者

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

(停学期間の取扱い)

第64条 停学期間が通算して3か月以上の場合は、その期間は第20条に定める在学期間に算入しない。

第13章 職員組織

(職員組織)

第65条 本学に、国立大学法人室蘭工業大学組織規則（平成16年度室工大規則第1号）第13条に定める
職員を置く。

附 則

(施行期日)

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

(在籍学生の承継)

2 この学則施行日前日に、国立学校設置法（昭和24年法律第150号。以下「設置法」という。）に基づき設置された室蘭工業大学に在籍する学生は、この学則施行日において、法人が設置する室蘭工業大学の学生となるものとする。

3 前項の学生が、設置法に基づき設置された室蘭工業大学において修得した単位数、在学した期間及び修学上必要な事項については、法人が設置する室蘭工業大学の学生となった後に通算するものとする。

(別表の経過措置)

4 別表第1及び第2の規定は、平成16年度に入学する学生から適用し、附則第2項に基づき承継されることとなる学生に適用される別表については、別に定める。

附 則（平成16年度室工大学則第3号）

(施行期日)

1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

(別表の経過措置)

2 改正後の室蘭工業大学学則別表第1及び第2の規定は、平成17年度に入学する者から適用し、平成16年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則（平成16年度室工大学則第4号）

(施行期日)

1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

(別表の経過措置)

2 改正後の室蘭工業大学学則別表第1及び別表第2の規定は、平成17年度に入学する者から適用し、平成16年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則（平成17年度室工大学則第1号）

この学則は、平成17年6月24日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則（平成17年度室工大学則第3号）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成17年度室工大学則第5号）

(施行期日)

1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

(別表の経過措置)

2 改正後の室蘭工業大学学則別表第1及び第2の規定は、平成18年度に入学する者から適用し平成17年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則（平成17年度室工大学則第6号）

(施行期日)

1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の室蘭工業大学学則第2条の規定は、平成18年度に入学する者から適用し、平成17年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則（平成18年度室工大学則第1号）

(施行期日)

1 この学則は、平成18年6月8日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

(別表の経過措置)

2 改正後の室蘭工業大学学則第2条の規定は、平成18年度に入学する者から適用し、平成17年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則（平成18年度室工大学則第3号）

(施行期日)

1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

(別表の経過措置)

2 改正後の室蘭工業大学学則別表第1及び第2の規定は、平成19年度に入学する者から適用し平成18年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則（平成18年度室工大学則第5号）

この学則は、平成18年11月1日から施行する。

附 則（平成19年度室工大学則第1号）

（施行期日）

- 1 この学則は、平成19年5月17日から施行し、平成19年4月1日から適用する。
（別表の経過措置）
- 2 改正後の室蘭工業大学学則別表第1の規定は、平成19年度に入学する者から適用し、平成18年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附 則（平成19年度室工大学則第2号）

（施行期日）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
（別表の経過措置）
- 2 改正後の室蘭工業大学学則別表第1及び別表第2の規定は、平成20年度に入学する者から適用し、平成19年度以前に入学した者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の別表第1主専門教育課程の表中建設システム工学科（昼間コース）長期学外実習、機械システム工学科（昼間コース）長期学外実習、機械システム工学科（夜間主コース）長期学外実習、材料物性工学科（昼間コース）長期学外実習、応用化学科（昼間コース）長期学外実習及び別表第2副専門教育課程の表中共通科目（昼間コース）地域再生システム論は、平成20年3月31日に在学する者（平成20年4月1日以後において、これらと同一年次に入学した者を含む。）に適用する。

附 則（平成20年度室工大学則第1号）

（施行期日）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則施行前の工学部建設システム工学科（昼間コース）、機械システム工学科（昼間コース、夜間主コース）、情報工学科（昼間コース、夜間主コース）、電気電子工学科（昼間コース、夜間主コース）、材料物性工学科（昼間コース）及び応用化学科（昼間コース）は、改正後の学則第2条の規定にかかわらず、平成21年3月31日に当該学科に在学する者（平成21年4月1日以後において、これらと同一年次に編入学、再入学及び転入学した者を含む。）が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、教育課程及び履修方法は、なお従前の方法による。
- 3 この学則施行前に在学する者に係る所要資格を取得できる教員の免許状の種類及び教科は、なお従前の例による。
- 4 第4条に定める学生の総定員は、同条の規定にかかわらず、平成21年度から平成23年度までは、次の表のとおりとする。

学科	総定員		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
建築社会基盤系学科 昼間コース	人 110	人 220	人 340
機械航空創造系学科 昼間コース	140	280	430
夜間主コース	20	40	60
応用理化学系学科 昼間コース	130	260	400
情報電子工学系学科 昼間コース	180	360	550
夜間主コース	20	40	60
合計	600	1,200	1,840

附 則（平成21年度室工大学則第1号）

（施行期日）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
(別表の経過措置)
- 2 改正後の室蘭工業大学学則別表第4の規定は、平成22年度に入学する者から適用し、平成21年度以前に入学した者については、なお従前の例による。
附 則 (平成22年度室工大学則第1号)
この学則は、平成23年3月29日から施行する。
附 則 (平成23年度室工大学則第1号)
この学則は、平成23年10月6日から施行し、平成23年10月1日から適用する。
附 則 (平成23年度室工大学則第2号)
この学則は、平成24年3月1日から施行する。
附 則 (平成24年度室工大学則第1号)
(施行期日)
- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
(別表の経過措置)
- 2 改正後の室蘭工業大学学則別表第2及び第3の規定は、平成25年度に入学する者から適用し、平成24年度以前に入学した者については、なお従前の例による。
附 則 (平成25年度室工大学則第1号)
(施行期日)
- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
(別表の経過措置)
- 2 改正後の室蘭工業大学学則別表第2及び第3の規定は、平成26年度に入学する者から適用し、平成25年度以前に入学した者については、なお従前の例による。
附 則 (平成26年度室工大学則第1号)
(施行期日)
- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
(別表の経過措置)
- 2 改正後の室蘭工業大学学則別表第2及び第3の規定は、平成27年度に入学する者から適用し、平成26年度以前に入学した者については、なお従前の例による。
附 則 (平成27年度室工大学則第1号)
この学則は、平成27年5月20日から施行する。
附 則 (平成27年度室工大学則第3号)
(施行期日)
- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
(別表の経過措置)
- 2 改正後の室蘭工業大学学則別表第2及び第3の規定は、平成28年度に入学する者から適用し、平成27年度以前に入学した者については、なお従前の例による。
附 則 (平成28年度室工大学則第1号)
この学則は、平成28年5月26日から施行する。
附 則 (平成28年度室工大学則第2号)
この学則は、平成28年6月23日から施行し、平成28年4月1日から適用する。
附 則 (平成28年度室工大学則第3号)
(施行期日)
- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
(別表の経過措置)
- 2 改正後の室蘭工業大学学則別表第2及び第3の規定は、平成29年度に入学する者から適用し、平成28年度以前に入学した者については、なお従前の例による。
附 則 (平成29年度室工大学則第1号)
この学則は、平成29年7月11日から施行する。
附 則 (平成30年度室工大学則第 号)
(施行期日)

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この学則施行前の工学部建築社会基盤系学科（昼間コース）、機械航空創造系学科（昼間コース、夜間主コース）、応用理化学系学科（昼間コース）及び情報電子工学系学科（昼間コース、夜間主コース）は、改正後の学則第 2 条の規定にかかわらず、平成 30 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者（平成 31 年 4 月 1 日以後において、これらと同一学年に編入学、再入学及び転入学した者を含む。）が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、教育課程及び履修方法は、なお従前の方法による。
- 3 この学則施行前に在学する者に係る所要資格を取得できる教員の免許状の種類及び教科は、なお従前の例による。
- 4 第 4 条に定める学生の総定員は、同条の規定にかかわらず、平成 31 年度から平成 33 年度までは、次の表のとおりとする。

学科	総定員		
	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
創造工学科			
昼間コース	325 名	650 名	1,000 名
夜間主コース	40 名	80 名	120 名
システム理化学科			
昼間コース	235 名	470 名	720 名
合計	600 名	1,200 名	1,840 名

別表第 1（第 2 条の 2 関係）

学科	教育目的
創造工学科	北海道をはじめとする地域の産業構造や自然・都市環境の特性ならびに生産活動（ものづくり）の原理・動性等を理解し、それを工学的視点で社会に応用・活用できる力（地域産業を発展させる力）を身に付けた人材（技術者）を育成する。
システム理化学科	北海道をはじめとする地域の自然資源や資産の本質を科学（理学）的視点で解明し、その本質を体系づける力（地域産業の芽を見つけ考える力）を身に付けた探究力を持つ人材（科学技術者）を育成する。

別表第 2（第 9 条関係）

専門教育課程

創造工学科（昼間コース）

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
理工学部 共通科目	線形代数 A	2		1	10 単位修得
	線形代数 B	2		1	
	微分積分 A	2		1	
	微分積分 B	2		1	
	微分積分 C	2		2	
	物理学 A	2		1	4 単位修得
	物理学 B	1		1	
	物理学 C	1		1	
	化学		2	1	2 単位修得
	生物学		2	1	
	環境科学	2		2	4 単位修得
	フレッシュマンセミナー	1		1	
	知的財産所有権論	1		3	

理工学部 共通科目	情報科目	情報セキュリティ入門	2		1	6 単位修得
		データサイエンス入門	2		1	
		プログラミング入門	2		1	
創造工学科 共通科目	専門基礎科目	工業物理基礎実験	1		1	17 単位修得
		化学・生物学概論	2		1	
		電気回路基礎	2		2	
		電磁気学基礎	2		2	
		材料の力学A	1		2	
		材料の力学B	1		2	
		流れの力学A	1		2	
		流れの力学B	1		2	
		熱力学基礎A	1		2	
		熱力学基礎B	1		2	
		計測工学	1		2	
		工学概論	1		2	
	工学技術者倫理	2		3		
	情報科目	統計的データ処理	2		2	6 単位修得
		現代情報学概論	2		2	
確率統計		2		2		

卒業要件

理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位、合計49単位以上修得すること。

建築土木工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考	
		必修	選択			
コース 共通科目	コース 必修	土木工学概論	1		2	14 単位必修
		建築学概論	1		2	
		プロジェクト評価	1		2	
		図学	1		2	
		都市計画	1		2	
		空間の環境	1		2	
		建設構造力学	1		2	
		建設材料学	1		2	
		卒業研究	6		4	
建築学 トラック	必修科目	建築設計基礎	1		2	34 単位修得
		建築設計Ⅰ	1		2	
		建築設計Ⅱ	2		3	
		建築設計Ⅲ	2		3	
		建築構法計画	2		3	
		建築計画Ⅰ	2		3	
		都市地域計画Ⅰ	1		2	
		建築史	2		3	

		建築設計論	2		3		
		建築環境工学Ⅰ	1		2		
		建築環境工学Ⅱ	2		3		
		建築設備	2		3		
		建築構造力学Ⅰ	1		2		
		建築鋼構造	2		3		
		建築鉄筋コンクリート構造	2		3		
		建築材料Ⅰ	1		2		
		建築施工	2		3		
		建築法規	2		3		
		建築学演習Ⅰ	1		2		
		建築学演習Ⅱ	1		3		
		建築学演習Ⅲ	2		3		
	選	建築設計Ⅳ		2	4	8 単位修得	
	択	建築計画Ⅱ		2	3		
	科	建築構造力学Ⅱ		3	3		
	目	都市地域計画Ⅱ		2	3		
		都市マネジメント		2	3		
		寒地建築環境工学		2	3		
		建築構造力学Ⅲ		2	4		
		基礎構造		2	3		
		建築構造演習		2	3		
		建築構造設計演習		2	4		
		建築材料Ⅱ		2	3		
		建築材料実験		1	3		
		建築測量学実習		1	4		
土	必	測量学	2		3	3 5 単位修得	
木	修	測量学実習	1		3		
工	科	空間情報処理	1		2		
学	目	土木構造力学Ⅰ	1		2		
ト		土木構造力学Ⅱ	2		3		
ラ		水理学Ⅰ	2		2		
ック		水理学Ⅱ	2		3		
		土質力学Ⅰ	2		2		
		土質力学Ⅱ	2		3		
		コンクリート工学	1		2		
		コンクリート構造学Ⅰ	2		3		
		鋼構造学	2		3		
		火山防災工学	2		3		
		振動工学	2		3		
		交通システム計画	2		3		
		応用水理学	2		3		
		応用土質力学	2		3		
		地域計画	1		2		
		土木工学創造演習	1		2		
		土木実験	1		3		
		土木工学ゼミナール	2		3		
	選	コンクリート構造学Ⅱ		1	3	2 単位以	7 単位以

択 科 目 A 選 択 科 目 B	応用構造力学		1	3	上修得	上修得
	設計製作演習		1	3		
	維持管理工学		1	4		
	河川計画学		1	4	4単位以上修得	
	建設マネジメント		2	4		
	環境衛生工学		1	3		
	廃棄物工学		1	3		
	水文学		1	4		
	海岸・海洋工学		1	4		
	港工学		1	4		
	土木応用プログラミング		1	4		
土木地質学		1	4			
防災地盤工学		1	4			

卒業要件

1. 建築学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、建築学トラック科目の必修科目34単位、選択科目8単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 土木工学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、土木工学トラック科目の必修科目35単位以上、選択科目A・Bから7単位以上（ただし、選択科目A：2単位以上、選択科目B：4単位以上）、合計56単位以上修得すること。
3. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、建築学トラックについては合計129単位以上、土木工学トラックについては合計129単位以上修得すること。

機械ロボット工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
コース科目	実践科目群	機械製図	2		20単位必修
		機械工作法実習	2		
		機械ロボット工学実験	2		
		機械ロボット工学演習	2		
		機械ロボット工学設計法	2		
		卒業研究Ⅰ	4		
		卒業研究Ⅱ	6		
	基盤科目群	熱力学	2		26単位必修
		流体力学Ⅰ	2		
		材料力学Ⅰ	2		
		機械力学Ⅰ	2		
		制御工学	2		
		電気電子工学	2		
		ロボット工学	2		
流体力学Ⅱ		2			
材料力学Ⅱ		2			
機械力学Ⅱ		2			
システム制御工学		2			
技術英語	2				
技術コミュニケーション	2				
応	機構学		2	2	10単位以上修得

用 科 目 群	計測システム工学		2	2	
	機械システム設計学		2	3	
	機械製作学		2	3	
	伝熱工学		2	3	
	機械材料学		2	3	
	知能ロボット応用学		2	3	

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目46単位、選択科目10単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

航空宇宙工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考			
		必修	選択					
コ ー ス 科 目	基 礎 科 目	航空宇宙機械力学	2		2	必修20単位、選択 14単位以上、計3 4単位以上修得		
		航空宇宙電気電子工学	2		2			
		応用解析学Ⅰ	2		2			
		応用解析学Ⅱ	2		3			
		数値流体力学		2	3			
		ロケット工学		2	3			
		ジェットエンジン		2	3			
		空気力学	2		3			
		航空宇宙熱力学	2		2			
		燃焼工学		2	2			
		伝熱学		2	3			
		航空宇宙構造工学Ⅰ	2		2			
		航空宇宙構造工学Ⅱ	2		3			
		航空宇宙構造工学Ⅲ		2	3			
		飛行力学Ⅰ	2		2			
		飛行力学Ⅱ		2	3			
		宇宙航行工学		2	3			
		航空宇宙制御工学Ⅰ	2		2			
航空宇宙制御工学Ⅱ		2	3					
実 践 科 目	機 械 製 図	機械製図	1		2	9単位必修		
		航空宇宙工学製図	2		3			
		航空宇宙工学実験	2		3			
		航空宇宙工学セミナー	2		3			
		航空機設計法Ⅰ	2		3			
特 別 講 義	航 空 宇 宙 工 学 特 別 講 義	1			4	1単位必修		
完 成 科 目	宇 宙 機 設 計 法	宇宙機設計法		2	4	2単位選 択必修	12単位 修得	
		航空機設計法Ⅱ		2	4			
		卒業研究Ⅰ	4			4		10単位 必修
		卒業研究Ⅱ	6			4		

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目40単位、選択科目16単位以上、合計56単位以上修得すること。

2. 一般教養教育24単位，理工学部共通科目から26単位，創造工学科共通科目から23単位を含め，合計129単位以上修得すること。

電気電子工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考		
		必修	選択				
コース科目	必修科目	電磁気学	2		2	4 2 単位必修	
		電磁気学演習	2		2		
		電気回路	2		2		
		電気回路演習	2		2		
		電子回路 I	2		2		
		デジタル回路	2		2		
		計測システム工学	2		2		
		電子物性	2		2		
		工学演習 I	2		2		
		電子回路 II	2		3		
		半導体工学	2		3		
		工学演習 II	2		3		
		電気電子工学実験 A	4		3		
		電気電子工学実験 B	4		3		
		卒業研究	10		4		
	選択科目	電磁エネルギー変換工学		2	3	4 単位以上修得	1 4 単位以上修得
		信号処理		2	3		
		通信工学		2	3		
		制御工学		2	3		
		高電圧工学		2	3		
		情報符号理論		2	3		
		送配電工学		2	3		
		電力発生工学		2	3		
		パワーエレクトロニクス		2	3		
		電気機器学		2	3		
		電気電子材料		2	3		
無線伝送工学		2	3				
伝送回路工学		2	3				
通信網工学		2	3				
電気通信関係法規		1	4				
原子力工学		1	4				
電気関係法規・電気施設管理		1	4				
電気機器設計製図		2	4				

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち，必修科目42単位，選択科目14単位以上，合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位，理工学部共通科目から26単位，創造工学科共通科目から23単位を含め，合計129単位以上修得すること。

創造工学科（夜間主コース）

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考	
		必修	選択			
理工学部共通科目	線形代数A	2		1	10単位修得	
	線形代数B	2		1		
	微分積分A	2		1		
	微分積分B	2		1		
	微分積分C	2		2		
	物理学A	2		1	4単位修得	
	物理学B	1		1		
	物理学C	1		1		
	化学		2	1	2単位選択	
	生物学		2	1		
	フレッシュマンセミナー	1		1	1単位修得	
理工学部共通科目	情報科目	情報セキュリティ入門	2		1	6単位修得
		データサイエンス入門	2		1	
		プログラミング入門	2		1	
創造工学科共通科目（夜間主コース）	専門基礎科目	工業物理基礎実験	1		2	16単位修得
		化学・生物学概論	2		1	
		電気回路基礎	2		2	
		電磁気学基礎	2		2	
		材料の力学A	1		2	
		材料の力学B	1		2	
		流れの力学A	1		2	
		流れの力学B	1		2	
		熱力学基礎A	1		2	
		熱力学基礎B	1		2	
		計測工学	1		2	
		工学技術者倫理	2		3	
	情報科目	統計的データ処理	2		2	10単位修得
		現代情報学概論	2		1	
		確率統計	2		2	
		情報システム工学	2		1	
		プログラミング実践演習	2		2	

卒業要件

理工学部共通科目から23単位，創造工学科共通科目から26単位，合計49単位以上修得すること。

機械系コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考	
		必修	選択			
コース科目	必修科目	機械製図	2		3	30単位必修
		機械工作法実習	2		3	
		機械工学実験	2		3	
		機械工学セミナーA	2		2	
		機械工学セミナーB	2		3	
		卒業研究Ⅰ	4		4	
		卒業研究Ⅱ	6		4	
		熱力学	2		2	
		材料力学Ⅰ	2		2	
		流体力学Ⅰ	2		2	
		機械力学Ⅰ	2		2	
		制御工学	2		3	
	選択科目	電子回路Ⅰ		2	2	25単位以上修得
		計測システム工学		2	3	
		機構学		2	2	
		材料力学Ⅱ		2	3	
		流体力学Ⅱ		2	3	
		機械力学Ⅱ		2	3	
		機械工学概論		1	3	
		ロボット工学		2	3	
		デジタル回路		2	3	
		伝熱工学		2	3	
		機械材料学		2	3	
機械製作学		2	3			
推進工学		2	2			
航空宇宙構造力学		2	2			

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目30単位、選択科目25単位以上、合計55単位以上修得すること。
2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。
3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、航空宇宙工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース電気系コースのコース科目を修得した場合は、本表の選択科目の単位数に含めることができる。

電気系コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考	
		必修	選択			
コース科目	必修科目	電磁気学	2		2	42単位必修
		電磁気学演習	2		2	
		電気回路	2		2	
		電気回路演習	2		2	
		電子回路Ⅰ	2		2	
		デジタル回路	2		3	
		計測システム工学	2		3	
		電子物性	2		2	

		工学演習	2		2		
		電子回路Ⅱ	2		3		
		半導体工学	2		3		
		制御工学	2		3		
		電気電子工学実験 A	4		3		
		電気電子工学実験 B	4		3		
		卒業研究	10		4		
	選択科目 A 群	電磁エネルギー変換工学		2	3	4 単位以上修得	13 単位以上修得
		信号処理		2	3		
		通信工学		2	3		
		ロボット工学		2	3		
	選択科目 B 群	情報符号理論		2	3		
		電気電子材料		2	3		
		電気通信関係法規		2	4		
		原子力工学		2	4		
		電気関係法規・電気施設管理		2	4		
		電気機器設計製図		2	4		

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上修得すること。
2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。
3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース機械系コースのコース科目を修得した場合は、9 単位以内に限り選択科目 B 群の単位数に含めることができる。

システム理化学科（昼間コース）

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考	
		必修	選択			
理工学部共通科目	線形代数 A	2		1	10 単位修得	
	線形代数 B	2		1		
	微分積分 A	2		1		
	微分積分 B	2		1		
	微分積分 C	2		2		
	物理学 A	2		1	4 単位修得	
	物理学 B	1		1		
	物理学 C	1		1		
	化学		2	1	2 単位選択	
	生物学		2	1		
	環境科学	2		2	4 単位修得	
	フレッシュマンセミナー	1		1		
	知的財産所有権論	1		3		
理工学部共	情報科目	情報セキュリティ入門	2		1	6 単位修得
		データサイエンス入門	2		1	

通 科 目		プログラミング入門	2		1	
シ ス テ ム 理 化 学 科 共 通 科 目	専 門 基 礎 科 目	基礎物理実験	1		2	17 単位修得
		化学実験	1		1	
		基礎生物学	2		1	
		基礎化学	2		1	
		物質科学	2		2	
		振動・波動論	2		2	
		物質変換論	2		2	
		生物物質化学	2		2	
		理工学概論	1		2	
		理工学技術者倫理	2		3	
		地球科学入門		1	1	
	情 報 科 目	統計的データ分析	2		2	10 単位修得
		現代情報学概論	2		2	
		確率論	2		2	
		理工学情報演習	1		2	
		プログラミング演習	2		2	
		情報システム概論	1		2	

卒業要件

理工学部共通科目から26単位，システム理化学科共通科目から27単位，合計53単位以上修得すること。

物理物質システムコース

区 分	授 業 科 目 名	単 位 数		開 講 年 次	備 考	
		必 修	選 択			
コ ー ス 科 目	必 修 科 目	熱力学	2		2	46 単位必修
		熱力学演習	1		2	
		電磁気学A	2		2	
		電磁気学演習	1		2	
		力学A	1		2	
		力学B	1		2	
		力学演習	1		2	
		物理物質プレゼンテーション技法	1		2	
		物理数学	2		3	
		物理数学演習	1		3	
		結晶構造学	2		2	
		物理物質学実験A	2		3	
		物理化学	2		3	
		固体物理A	2		3	
		電磁気学B	2		3	
		量子力学A	2		3	
		統計力学	2		3	
		物理物質学実験B	2		3	
		量子力学B	2		3	
		固体物理B	2		3	
光学	2		3			
科学英語	1		3			

		ゼミナール	2		4	
		卒業研究	8		4	
選 択 科 目		応用力学A		1	3	6 単位以上修得
		応用力学B		1	3	
		量子物質科学A		1	3	
		量子物質科学B		1	3	
		量子物質科学C		1	3	
		量子物質科学D		1	3	
		光物理工学A		1	3	
		光物理工学B		1	3	
		材料科学A		1	3	
		材料科学B		1	3	
		材料科学C		1	3	
		材料科学D		1	3	
		物理物質工場見学		1	2	

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目46単位、選択科目6単位以上、合計52単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。

化学生物システムコース

区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考					
		必修	選択							
コ ー ス 科 目	必 修 科 目	物理化学A	2		2	3 7 単位必修				
		物理化学B	2		2					
		有機化学A	2		2					
		有機化学B	2		2					
		生化学A	2		2					
		生化学B	2		2					
		流れ学A	2		3					
		流れ学B	2		3					
		物理化学実験	1		3					
		分析化学および実験	3		3					
		有機化学実験	1		3					
		生物化学実験	1		3					
		化学プロセス生産論および実験実習	3		3					
		安全管理	1		3					
		化学生物プレゼンテーション技法	1		3					
		ゼミナール	2		4					
		卒業研究	8		4					
		選 択 科 目		無機化学A			1	3	選択科目 Aから1 1 単位以 上修得	選択科目 から1 5 単位以上 修得
				無機化学B			1	3		
物理化学C				2	3					
物理化学D				2	3					

A	環境化学		2	3	
	高分子化学A		1	3	
	高分子化学B		1	3	
	化学基礎演習A		1	3	
	化学基礎演習B		1	3	
	有機化学C		2	3	
	有機化学D		2	3	
	有機合成化学		2	3	
	有機構造解析学		2	4	
	有機化学演習		1	3	
	微生物科学A		2	2	
	微生物科学B		2	3	
	細胞生物学		2	3	
	分子生物学A		1	3	
	分子生物学B		1	3	
	応用微生物学		2	3	
	生物システム科学		2	4	
	バイオ演習		1	3	
	輸送現象論		2	2	
	化学反応操作		2	3	
	物質分離操作		2	3	
	化学プロセス制御		2	3	
	流れ学A演習		1	3	
	流れ学B演習		1	3	
企業見学		1	3		
選 択 科 目 B	食品科学		1	4	選 択 科 目 B か ら 2 単 位 以 上 修 得
	材料科学		1	4	
	食品生産論		1	4	
	材料生産論		1	4	

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目37単位、選択科目15単位以上（選択科目Aから11単位以上、選択科目Bから2単位以上）、合計52単位以上修得すること。

2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。

数理情報システムコース

区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考
		必修	選択		
コ ー ス 科 目	A 群	情報学基礎演習A	1		1 9 単位必修
	情報学基礎演習B	1		3	
	情報学PBL演習	1		3	
	表現技術演習	2		2	
	情報学応用演習A	1		3	

		情報学応用演習B	1		3	
		技術英語	2		2	
		基盤情報学演習	1		3	
		情報学ゼミナール	1		3	
		卒業研究	8		4	
	B群	データ構造とアルゴリズム	2		2	8単位必修
		情報数学	2		2	
		数学概論	2		2	
		プログラミングA	2		2	
	C群	応用数学		2	3	25単位以上修得
		データベース		2	3	
		信号処理		2	3	
		プログラミングB		2	3	
		代数学		2	3	
		幾何学		2	3	
		解析学		2	3	
		情報理論		2	3	
		言語処理系論		2	3	
		最適化理論		2	3	
		論理回路		2	3	
		数論アルゴリズム		2	3	
		人工知能		2	3	
		認識と学習		2	3	
		情報学特別講義A		1	3	
		情報学特別講義B		1	3	
		情報学特別講義C		1	3	
		情報学特別講義D		1	3	
		情報学特別講義E		1	4	
		情報学特別講義F		1	4	

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目27単位、選択科目25単位以上、合計52単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。

別表第3（第10条関係）

一般教養教育課程（昼間コース）

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考		
		必修	選択				
外国語科目	フレッシュマン英語演習	1		1	5単位必修	9単位以上修得	25単位以上修得
	英語リーディング演習A	1		1			
	英語リーディング演習B	1		2			
	英語総合演習	1		2			
	英語コミュニケーションI	1		2			
	英語コミュニケーションII		1	3			
	TOEIC 英語演習 I	1		1	3単位必修		
	TOEIC 英語演習 II	2		3			
	ドイツ語		1	1	1単位修得		
	中国語		1	1			

地域 連 携 科 目	地域社会概論	1		1	1 単位必修	2 単 位以 上修 得
	胆振学入門		1	1		
	北海道産業論 A		1	3	1 単位以上 修得	
	北海道産業論 B		1	3		
	北海道産業論 C		1	3		
	インター・テクノロジー A		1	3		
	インター・テクノロジー B		1	4		
人 と 社 会 に 関 す る 科 目	平和学		1	1	1 2 単位 以上 修得	
	哲学入門		1	1		
	こころの科学		1	1		
	経済のしくみ		1	1		
	日本の憲法		2	1		
	現代社会論		2	1		
	現代民主主義論		2	1		
	現代心理学		2	1		
	運動の科学		2	1		
	経済事情		2	1		
	医の科学		2	1		
	メンタルヘルス論		2	1		
	青少年と文化		2	1		
	異文化交流 A		2	1		
	ドイツの文化		1	1～2		
	中国の文化		1	1～2		
	環境経済論		2	2		
	基本的人権論		2	2		
	地方自治論		2	2		
	感性の科学		2	2		
	国際文化論		2	2		
	異文化交流 B		2	2		
	地域再生システム論		2	1		
	キャリアデザイン		2	2		
	スポーツ実習 a	スポーツ	1	1		2 単位まで 修得が可能
	スポーツ実習 b		1	1		
	スポーツ実習 c		1	1		
	スポーツ実習 d		1	1		
	臨海実習		1	1～4		1 科目修得 可能
	海外語学研修		2	1～4		
海外研修		1	1～4			
社会体験実習		1	1～4			
地域インターンシップ		2	3			
短期インターンシップ		2	3			
長期インターンシップ		3	3			
連携教養科目		1または 2	1～4			
日 本 語	日本語 A-1		1	1～4	1. 外国人留学生を対象として開講する授業科目である。	
	日本語 B-1		1	1～4		
	日本語 C-1		1	1～4		

科目	日本語 D-1		1	1～4	2. 外国語科目として履修することができる。(要申請) 3. 外国語科目として履修しなかった場合、人と社会に関する科目の部分に4単位まで単位を充当できる。
	日本語 A-2		1	1～4	
	日本語 B-2		1	1～4	
	日本語 C-2		1	1～4	
	日本語 D-2		1	1～4	

卒業要件

外国語科目 9 単位以上、地域連携科目 2 単位以上、人と社会に関する科目 12 単位以上、その他外国語科目、地域連携科目及び人と社会に関する科目から 1 単位以上、合計 24 単位以上修得すること。

一般教養教育課程（夜間主コース）

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考		
		必修	選択				
外国語科目	フレッシュマン英語演習	1		1	6 単位必修	7 単位以上修得	2 1 単位以上修得
	英語コミュニケーション演習	1		1			
	TOEIC 英語演習 A	1		1			
	英語リーディング演習	1		1			
	TOEIC 英語演習 B	1		2			
	英語総合演習	1		2			
	ドイツ語		1	1	1 単位修得		
中国語		1	1				
人と社会に関する科目	スポーツ実習 b		1	1		1 4 単位以上修得	
	スポーツ実習 d		1	1			
	臨海実習		1	1～4			
	社会体験実習		1	1～4			
	海外研修		1	1～4			
	海外語学研修		2	1～4			
	表現技法		1	1			
	キャリアデザイン		2	2			
	地域再生システム論		2	1			
	短期インターンシップ		2	3	1 科目修得可能		
	長期インターンシップ		3	3			
	哲学入門		1	1・2	西暦奇数年 度開講		
	現代社会論		2	1・2			
	こころの科学		1	1・2			
	現代心理学		2	1・2			
	経済のしくみ		1	1・2	西暦偶数年 度開講		
	経済事情		2	1・2			
平和学		1	1・2				
日本の憲法		2	1・2				
現代民主主義論		2	1・2				

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、外国語科目 7 単位以上、人と社会に関する科目 14 単位以上、合計 21 単位以上を修得すること。
2. 昼間コース一般教養教育科目（本表と同一の外国語科目を除く）の単位を修得した場合は、夜間主コース一般教養教育科目の選択科目に含めることができる。

別表第4（第11条関係）

教職課程

区分	授業科目名	単位数	開講年次	備考
教育の基礎的理解に関する科目等	教育学概論	2	1	23 単位修得
	教職原論	2	1	
	教育と社会	2	2	
	教育心理学	2	2	
	特別支援教育論	2	3	
	総合的な学習の時間・教育課程論	2	2	
	特別活動・教育方法論	2	3	
	生徒指導・進路指導	2	3	
	教育相談	2	4	
	教育実習	3	4	
	教職実践演習（高）	2	4	
各教科の指導法	理科教育法A	2	2・3	該当する教科教育法から4単位選択必修
	理科教育法B	2	2・3	
	数学教育法A	2	2・3	
	数学教育法B	2	2・3	
	工業教育法A	2	2・3	
	工業教育法B	2	2・3	
教科に関する専門的事項	職業指導	2	2	工業のみ必修

室蘭工業大学学則の一部改正（案）骨子

1. 趣旨

工学部の改組に伴う理工学部を設置に関して、所要の改正を行う。

2. 施行日

平成31年4月1日

室蘭工業大学学則の一部改正 新旧対照表 (案)

新	旧																																																																												
<p>室蘭工業大学学則</p> <p>平成16年4月1日 室工大学則第1号</p> <p>目次 (略)</p> <p>第1章 目的及び使命 (目的及び使命)</p> <p>第1条 (略)</p> <p>第2章 学科、修業年限及び収容定員 (学部及び学科)</p> <p>第2条 本学は理工学部を置き、次の学科を置く。 創造工学科 システム理化学科</p> <p>2 前項の学科に、学生の教育上の区分として、次のコースを置く。 昼間に授業を行うコース (以下「昼間コース」という。) 全学科 主として夜間に授業を行うコース (以下「夜間主コース」という。) 創造工学科</p> <p>3 第1項の学科に、履修上の区分として、コースを置く。 (学科の教育目的)</p> <p>第2条の2 学科の教育目的は、別表第1のとおりとする。 (修業年限及び在学期間)</p> <p>第3条 (略)</p> <p>(収容定員)</p> <p>第4条 本学の収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">入学定員</th> <th style="text-align: center;">3年次編入学定員</th> <th style="text-align: center;">総定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創造工学科</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 昼間コース</td> <td style="text-align: center;">325名</td> <td style="text-align: center;">25名</td> <td style="text-align: center;">1,350名</td> </tr> <tr> <td> 夜間主コース</td> <td style="text-align: center;">40名</td> <td></td> <td style="text-align: center;">160名</td> </tr> <tr> <td>システム理化学科</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 昼間コース</td> <td style="text-align: center;">235名</td> <td style="text-align: center;">15名</td> <td style="text-align: center;">970名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">600名</td> <td style="text-align: center;">40名</td> <td style="text-align: center;">2,480名</td> </tr> </tbody> </table>		入学定員	3年次編入学定員	総定員	創造工学科				昼間コース	325名	25名	1,350名	夜間主コース	40名		160名	システム理化学科				昼間コース	235名	15名	970名	合計	600名	40名	2,480名	<p>室蘭工業大学学則</p> <p>平成16年4月1日 室工大学則第1号</p> <p>目次 (略)</p> <p>第1章 目的及び使命 (目的及び使命)</p> <p>第1条 (略)</p> <p>第2章 学科、修業年限及び収容定員 (学部及び学科)</p> <p>第2条 本学は工学部を置き、次の学科を置く。 建築社会基盤系学科 機械航空創造系学科 応用理化学系学科 情報電子工学系学科 情報電子工学系学科</p> <p>2 前項の学科に、学生の教育上の区分として、次のコースを置く。 昼間に授業を行うコース (以下「昼間コース」という。) 全学科 主として夜間に授業を行うコース (以下「夜間主コース」という。) 機械航空創造系学科 情報電子工学系学科</p> <p>3 前項の昼間コースの学科に、履修上の区分として、コースを置く。 (学科の教育目的)</p> <p>第2条の2 学科の教育目的は、別表第1のとおりとする。 (修業年限及び在学期間)</p> <p>第3条 (略)</p> <p>(収容定員)</p> <p>第4条 本学の収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">入学定員</th> <th style="text-align: center;">3年次編入学</th> <th style="text-align: center;">総定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築社会基盤系学科</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 昼間コース</td> <td style="text-align: center;">110名</td> <td style="text-align: center;">10名</td> <td style="text-align: center;">460名</td> </tr> <tr> <td>機械航空創造系学科</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 昼間コース</td> <td style="text-align: center;">140名</td> <td style="text-align: center;">10名</td> <td style="text-align: center;">580名</td> </tr> <tr> <td> 夜間主コース</td> <td style="text-align: center;">20名</td> <td></td> <td style="text-align: center;">80名</td> </tr> <tr> <td>応用理化学系学科</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 昼間コース</td> <td style="text-align: center;">130名</td> <td style="text-align: center;">10名</td> <td style="text-align: center;">540名</td> </tr> <tr> <td>情報電子工学系学科</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 昼間コース</td> <td style="text-align: center;">180名</td> <td style="text-align: center;">10名</td> <td style="text-align: center;">740名</td> </tr> <tr> <td> 夜間主コース</td> <td style="text-align: center;">20名</td> <td></td> <td style="text-align: center;">80名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">600名</td> <td style="text-align: center;">40名</td> <td style="text-align: center;">2,480名</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3章 学年、学期及び休業日 (略)</p>		入学定員	3年次編入学	総定員	建築社会基盤系学科				昼間コース	110名	10名	460名	機械航空創造系学科				昼間コース	140名	10名	580名	夜間主コース	20名		80名	応用理化学系学科				昼間コース	130名	10名	540名	情報電子工学系学科				昼間コース	180名	10名	740名	夜間主コース	20名		80名	合計	600名	40名	2,480名
	入学定員	3年次編入学定員	総定員																																																																										
創造工学科																																																																													
昼間コース	325名	25名	1,350名																																																																										
夜間主コース	40名		160名																																																																										
システム理化学科																																																																													
昼間コース	235名	15名	970名																																																																										
合計	600名	40名	2,480名																																																																										
	入学定員	3年次編入学	総定員																																																																										
建築社会基盤系学科																																																																													
昼間コース	110名	10名	460名																																																																										
機械航空創造系学科																																																																													
昼間コース	140名	10名	580名																																																																										
夜間主コース	20名		80名																																																																										
応用理化学系学科																																																																													
昼間コース	130名	10名	540名																																																																										
情報電子工学系学科																																																																													
昼間コース	180名	10名	740名																																																																										
夜間主コース	20名		80名																																																																										
合計	600名	40名	2,480名																																																																										

新

第4章 教育課程及び履修方法
(教育課程)
第8条 本学の教育課程は、専門教育課程、一般教養教育課程及び教職課程とする。
(専門教育課程)
第9条 専門教育課程の授業科目、単位数、履修方法等は、別表第2のとおりとする。
(一般教養教育課程)
第10条 一般教養教育課程の授業科目、単位数、履修方法等は、別表第3のとおりとする。
(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)
第11条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める所要の単位を修得しなければならない。
2 教職課程の授業科目、単位数、履修方法等は、別表第4のとおりとする。
3 本学理工学部において取得できる教育職員の免許状の種類及び教科は、次のとおりとする。

区分	種類	教科
創造工学科昼間コース	高等学校教諭一種免許状	工業
システム理化学科昼間コース		理科、数学

(略)

附 則 (平成30年度室工大学則第 号)

1 この学期は、平成31年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この学期施行前の工学部建築社会基盤系学科(昼間コース)、機械航空創造系学科(昼間コース、夜間主コース)、応用理化学系学科(昼間コース)及び情報電子工学系学科(昼間コース、夜間主コース)は、改正後の学則第2条の規定にかかわらず、平成30年3月31日に当該学科に在学する者(平成31年4月1日以後において、これらと同一年次に編入学、再入学及び転入学した者を含む。)が当該学科に在学しなくなるまでの間に、存続するものとし、教育課程及び履修方法は、なお従前の方法による。
3 この学期施行前に在学する者に係る所要資格を取得できる教員の免許状の種類及び教科は、なお従前の例による。
4 第4条に定める学生の総定員は、同条の規定にかかわらず、平成31年度から平成33年度までは、次の表のとおりとする。

学科	総定員	
	平成31年度	平成32年度
創造工学科		
昼間コース	325名	650名
夜間主コース	40名	80名
システム理化学科		
昼間コース	235名	470名
合計	600名	1,200名

旧

第4章 教育課程及び履修方法
(教育課程)
第8条 本学の教育課程は、主専門教育課程、副専門教育課程及び教職課程とする。
(主専門教育課程)
第9条 主専門教育課程の授業科目、単位数、履修方法等は、別表第2のとおりとする。
(副専門教育課程)
第10条 副専門教育課程の授業科目、単位数、履修方法等は、別表第3のとおりとする。
(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)
第11条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める所要の単位を修得しなければならない。
2 教職課程の授業科目、単位数、履修方法等は、別表第4のとおりとする。
3 本学工学部において取得できる教育職員の免許状の種類及び教科は、次のとおりとする。

区分	種類	教科
建築社会基盤系学科昼間コース	高等学校教諭一種免許状	理科、工業
機械航空創造系学科昼間コース		理科、工業
機械航空創造系学科夜間主コース		工業
応用理化学系学科昼間コース		理科、工業
情報電子工学系学科昼間コース		数学、情報、工業
情報電子工学系学科夜間主コース		工業

(略)

別表第1 (第2条の2関係)

学科	教育目的
創造工学科	北海道をはじめとする地域の産業構造や自然・都市環境の特性ならびに生産活動(ものづくり)の原理・動性等を理解し、それを工学的視点で社会に活用・活用できる力(地域産業を発展させる力)を身に付けた人材(技術者)を育成する。
システム理化学科	北海道をはじめとする地域の自然資源や産産の本質を科学(理学)的視点で解明し、その本質を体系づける力(地域産業の事を見つけて考える力)を身に付けた探求力を持つ人材(科学技術者)を育成する。

別表第1 (第2条の2関係)

学科	教育目的
建築社会基盤系学科	建築学又は土木工学の専門分野の基本的な知識を有し、自然環境や社会環境について深い興味と問題意識を持ち、柔軟性に富み発想が豊かで、かつ人間に対する深い思いやりがあり、何事にも積極的に取り組み、チャレンジ精神に富む人材を養成する。
機械航空創造系学科	本学科はあらゆる産業分野にまたがる広範な機械システムとシステム構成材料に関わる科学と工学を扱い、共通する基礎知識に加え、機械の工学と科学を結ぶ機械科学技術、知能機械システムとしてのロボット技術、知能集約型複合機械システムを代表する航空宇宙技術、機械システム機の機能を決定づける構成材料の開発・製造・評価に関わる材料技術などの基礎および専門知識を身につけた人材を養成する。
応用理化学系学科	化学、生物、物理を柱とした基礎教育と、コースごとに応用化学、生物工学、応用物理分野を主眼とする応用教育を行う。自然科学とその応用分野で新しい時代の要請に応え、社会で創造的な活躍をするために十分な基礎学力と応用力及び倫理観を兼ね備えた人材を養成する。
情報電子工学系学科	幅広い教養を有し、コミュニケーション力、チームワーク力、倫理観など技術者としての基礎力を備え、自然科学の基礎知識及び情報工学と電気・電子工学に関する専門能力、並びに情報化社会の維持と高度化に必要な中核技術とその基礎理論を修得した人材を養成する。

別表第2 (第9条関係)

専門教育課程

創造工学科(昼間コース)

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
理工学部 共通科目	線形代数A	2		1	
	線形代数B	2		1	
	微分積分A	2		1	10単位修得
	微分積分B	2		1	
	微分積分C	2		2	
	物理学A	2		1	
	物理学B	1		1	4単位修得
	物理学C	1		1	
	化学		2	1	2単位修得
	生物学		2	1	
	環境科学	2		2	

別表第2 (第9条関係)

主専門教育課程

建築社会基盤系学科(昼間コース)

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
基礎科目	線形代数(建社)		2	1	
	解析A(建社)		3	1	
	解析B(建社)		3	1	
	解析C(建社)		2	2	
	基礎物理A(建社)		2	1	
	基礎物理B(建社)		2	1	21単位修得
	物理学実験(建社)		1	2	
	図学I(建社)		1	1	
	図学II(建社)		1	1	
	情報メディア基礎(建社)		2	1	
	技術者倫理(建社)		2	3	

新

理工学部共通科目	情報科目	フレッシュマンセミナー 知的財産所有権論	1	1	4 単位修得
			1	3	
理工学部共通科目	情報科目	情報セキュリティ入門	2	1	6 単位修得
		データサイエンス入門	2	1	
		プログラミング入門	2	1	
		工業物理基礎実験	1	1	
		化学・生物学概論	2	1	
		電気回路基礎	2	2	
		電磁気学基礎	2	2	
		材料の力学A	1	2	
		材料の力学B	1	2	
		流れの力学A	1	2	1 7 単位修得
理工学部共通科目	専門基礎科目	流れの力学B	1	2	
		熱力学基礎A	1	2	
		熱力学基礎B	1	2	
		計測工学	1	2	
		工学概論	1	2	
		工学技術者倫理	2	3	
		統計的データ処理	2	2	
		現代情報学概論	2	2	6 単位修得
		確率統計	2	2	
		理工学部共通科目	情報科目	卒業要件 理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位、合計49 単位以上修得すること。	
卒業要件 理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位、合計49 単位以上修得すること。					

旧

理工学部共通科目	情報科目	基礎化学 (建社)	2	1	
			1	2	
理工学部共通科目	情報科目	化学実験 (建社)	1	2	
		地域インターンシップ	2		
		短期インターンシップ	3		
		職形空間入門	2	1	
		生物学入門 (建社)	1	1	2 単位修得
		環境科学入門	1	1	
		現代工学の課題	1	1	
		地球科学入門 (建社)	1	1	
		基礎化学 (建社)	2	1	
		化学実験 (建社)	1	2	

理工学部共通科目	情報科目	授業科目名	単位数		開講 年次	備考
			必修	選択		
理工学部共通科目	情報科目	土木工学概論	2		1	
		建築学概論	2		1	
		プロジェクト評価	2		1	
		発想演習	1		1	
		材料の力学	2		1	
		流れの力学	2		1	2 5 単位修得
		土の力学	2		1	
		空間の環境	2		1	
		建築社会基盤系ゼミナール	2		3	
		卒業研究	8		4	
理工学部共通科目	情報科目	公共政策概論		2	4	
		工業経済論		2	4	
		建築構造力学Ⅰ	3		2	
		建築構造力学Ⅱ	3		2	
		建築鋼構造	2		2	
		建築鉄筋コンクリート構造	2		3	
		基礎構造	2		3	
		建築材料Ⅰ	2		2	
		建築施工	2		3	
		建築構法計画	2		2	3 4 単位修得
理工学部共通科目	情報科目	建築環境工学A	2		2	
		建築設備	2		3	
		建築設計Ⅰ	2		2	
		建築設計Ⅱ	2		2	
		建築設計Ⅲ	2		3	
		建築計画Ⅰ	2		2	
		都市計画Ⅰ	2		2	
		建築法規	2		3	
		建築設計Ⅰ	1		2	
		建築設計Ⅱ	1		2	
建築設計Ⅲ	1		3			
建築計画Ⅰ	6		4			
建築設計基礎	1		2			
建築設計Ⅰ	1		2			

新

土木工学トラック	交通システム計画	2	3	
	応用水理学	2	3	
	応用土質力学	2	3	
	地域計画	1	2	
	土木工学創造演習	1	2	
	土木実験	1	3	
	土木工学ゼミナール	2	3	
選	コンクリート構造学Ⅱ	1	3	
択	応用構造力学	1	3	2単位以上
A	設計製作演習	1	3	修得
科	維持管理工学	1	4	
目	河川計画学	1	4	
	建設マネジメント	2	4	
	環境衛生工学	1	3	
	廃棄物工学	1	3	
	水文学	1	4	
	海岸・海洋工学	1	4	4単位以上
	港工学	1	4	修得
	土木応用プログラミング	1	4	
	土木地質学	1	4	
	防災地盤工学	1	4	

卒業要件

1. 建築学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、建築学トラック科目の必修科目34単位、選択科目8単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 土木工学トラックについては、本表の授業科目のうち、コース共通科目14単位、土木工学トラック科目の必修科目35単位以上、選択科目A・Bから7単位以上(ただし、選択科目A：2単位以上、選択科目B：4単位以上)、合計56単位以上修得すること。
3. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、建築学トラックについては合計129単位以上、土木工学トラックについては合計129単位以上修得すること。

機械ロボット工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
実践科目群	機械製図	2	2	2	
	機械工作法実習	2	3	3	
	機械ロボット工学実験	2	3	3	
	機械ロボット工学演習	2	3	3	20単位必修
	機械ロボット工学設計法	2	4	4	
	卒業研究Ⅰ	4	4	4	
	卒業研究Ⅱ	6	4	4	
	熱力学	2	2	2	
	流体力学Ⅰ	2	2	2	
	材料力学Ⅰ	2	2	2	

旧

必修科目 コース科 目	応用構造力学	2	3	
	水理学Ⅰ	2	2	
	水理学Ⅱ	2	2	
	土質力学Ⅰ	2	2	
	土質力学Ⅱ	2	2	
	コンクリート工学	2	2	36単位修得
	構造系創造実習	1	2	
	コンクリート構造学Ⅰ	2	3	
	鋼構造学	2	3	
	土木実験	1	3	
	火山防災工学	2	3	
	応用振動工学	2	3	
	計画数理	2	2	
	交通システム計画	2	3	
	応用水理学	2	3	
	コンクリート構造学Ⅱ	2	3	2単位以上修得
	設計製作演習	2	3	
	土木施工	2	3	
	都市・地域計画	2	3	
河川工学	2	4		
建設マネジメント	2	4		
環境衛生工学	2	3		
廃棄物工学	2	3		
水文・水資源学	2	3	6単位以上修得	
海岸・海洋工学	2	3		
港工学	2	4		
防災地盤工学	2	3		

備考 卒業要件単位数

1. 本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目82単位、選択科目(選択科目A：2単位以上、選択科目B：6単位以上を含む。)12単位以上、合計94単位以上修得すること。
2. 副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。

機械航空創造系学科 (昼間コース)

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
必修科目	織形代数(機航)	2	1	1	1 機械システム工学コース及び航空宇宙システム工学コースは化学実験を除き、22単位修得
	解析A(機航)	3	1	1	
	解析B(機航)	3	1	1	
	解析C(機航)	2	2	2	
	基礎物理A(機航)	2	1	1	
	基礎物理B(機航)	2	2	2	
	物理学実験(機航)	1	2	2	2 材料工学コースは
	基礎化学(機航)	2	1	1	化学実験を含め、23単位修得
	化学実験(機航)	1	2	2	
			1	2	

新

基礎科目群	機械力学Ⅰ	2	2	2
	制御工学	2	2	2
	電気電子工学	2	2	2
	ロボット工学	2	2	2
	流体力学Ⅱ	2	2	3
	材料力学Ⅱ	2	2	3
	機械力学Ⅱ	2	2	3
	システム制御工学	2	2	3
	技術英語	2	2	3
	技術コミュニケーション	2	2	3
	機構学	2	2	2
	計測システム工学	2	2	2
	機械システム設計学	2	2	3
応用科目群	機械製作学	2	2	3
	伝熱工学	2	2	3
	機械材料学	2	2	3
	知能ロボット応用学	2	2	3

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目46単位、選択科目10単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

航空宇宙工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
基礎科目	航空宇宙機械力学	2	2	2	
	航空宇宙電気電子工学	2	2	2	
	応用解析学Ⅰ	2	2	2	
	応用解析学Ⅱ	2	2	3	
	数値流体力学	2	2	3	
	ロケット工学	2	2	3	
	ジェットエンジン	2	2	3	
	空気力学	2	2	3	
	航空宇宙熱力学	2	2	2	必修20単位、選択14単位以上修得
	燃焼工学	2	2	3	
	伝熱学	2	2	3	
	航空宇宙構造工学Ⅰ	2	2	2	
	航空宇宙構造工学Ⅱ	2	2	3	
航空宇宙構造工学Ⅲ	2	2	3		
飛行力学Ⅰ	2	2	2		
飛行力学Ⅱ	2	2	3		
宇宙航行工学	2	2	3		
航空宇宙制御工学Ⅰ	2	2	2		
航空宇宙制御工学Ⅱ	2	2	3		
機械製図	1	1	2		

旧

基礎科目	図学Ⅰ (機航)	1	1	1
	情報メディア基礎 (機航)	2	1	1
	技術者倫理 (機航)	2	3	
	図学Ⅱ (機航)	1	1	1
	地域インターンシップ	2	2	
	短期インターンシップ	2	2	1単位修得可能
	長期インターンシップ	3	3	
	選択科目			
	線形空間入門	2	2	1
	生物学入門 (機航)	1	1	1
	環境工学入門	1	1	2単位修得
	現代工学の課題	1	1	1
	地球科学入門 (機航)	1	1	1

機械システム工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
学科共通科目	フレッシュマンセミナー	1	1	1	
	熱力学Ⅰ	2	1	1	
	熱力学演習	1	1	1	
	車のサイエンス	1	1	1	
	ロボティクスの基礎	1	1	1	11単位修得
	航空宇宙機の基礎	2	2	1	
	実用材料学	1	1	1	
	材料特性の基礎	1	1	1	
	コミュニケーション技法	1	3	3	
	機械製図Ⅰ	1	2	2	
	機械製図Ⅱ	1	2	2	
	機械工作法実習Ⅰ	1	2	2	
	機械工作法実習Ⅱ	1	2	2	17単位修得
実践科目	機械システム工学セミナー	1	1	3	
	機械システム工学実験	2	2	3	
	卒業研究Ⅰ	4	4	4	
	卒業研究Ⅱ	6	6	4	
	熱力学Ⅱ	2	2	2	
	流体力学	2	2	2	
	流体力学	2	2	2	
	材料力学	2	2	2	
	構造力学基礎	2	2	2	
	機械力学	2	2	2	
	機械振動学	2	2	2	24単位修得
	制御工学	2	2	2	
	機械加工学	2	2	3	
電気電子工学	2	2	2		
機械システム設計学	2	2	3		
確率・統計	1	1	2		
知的所有権	1	1	4		

コース科目

新

実践科目	航空宇宙工学製図 航空宇宙工学実験 航空宇宙工学セミナー 航空機設計法Ⅰ 航空宇宙工学特別講義	2 2 2 2 1	3 3 3 3 4	9 単位必修	
				1 単位必修	2 単位必修
特別講義					
完成科目	宇宙機設計法 航空機設計法Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	2 2 4 6	4 4 4 4	2 2 4 4	1 2 単位 必修 1 0 単位必 修

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目40単位、選択科目16単位以上、合計56単位以上修得すること。
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学部共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。

電気電子工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
必修科目	電磁気学	2	2	2	
	電磁気学演習	2	2	2	
	電気回路	2	2	2	
	電気回路演習	2	2	2	
	電子回路Ⅰ	2	2	2	
	デジタル回路	2	2	2	
	計測システム工学	2	2	2	
	電子物性	2	2	2	
	工学演習Ⅰ	2	2	2	
	電子回路Ⅱ	2	2	3	
	半導体工学	2	2	3	
	工学演習Ⅱ	2	2	3	
	電気電子工学実験A	4	4	3	
	電気電子工学実験B	4	4	3	
卒業研究	10	10	4		
電気エネルギー変換工学		2	3		
信号処理		2	3		
通信工学		2	3		

コース科目

旧

演習科目群	流体力学演習 材料力学演習 機械力学演習 制御工学演習 機械科学セミナー 機械科学演習 機械科学設計法	1 1 1 1 1 2 2	2 2 2 2 3 3 3	4 単位修得	
				1 単位必修	2 単位必修
展開科目群	ロボティクスセミナー ロボティクス演習 ロボティクス設計法	1 2 2	3 3 3	1 2 2	3 3 3
応用科目群	熱機関		2	2	3
	伝熱工学		2	2	3
	ターボ機械		2	2	4
	機構学		2	2	2
	機械材料学		2	2	3
	機械製作法		2	2	3
	計測情報工学		2	2	3
	ロボット工学		2	2	3
	システム統合学		2	2	3

備考 卒業要件単位数

- 1 本表の授業科目のうち、基底科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目83単位、選択科目14単位以上、合計97単位以上修得すること。
- 2 展開科目群の授業科目は、機械システム工学コースにおいて定める教育トラック別（機械科学トラック、ロボティクストラック）に履修すること。
- 3 副専門科目32単位以上、主専門科目97単位以上、合計129単位以上修得すること。

航空宇宙システム工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
必修科目	フレジエマセミナー	1	1	1	
	熱力学Ⅰ	2	2	1	
	熱力学演習	1	1	1	
	車のサイエンス	1	1	1	
	ロボティクスの基礎	1	1	1	
	航空宇宙機の基礎	2	2	1	1 1 単位修得
	実用材料学	1	1	1	
	材料特性の基礎	1	1	1	
	コミュニケーション技法	1	1	3	

新		旧	
目	制御工学 高電圧工学 情報符号理論 送配電工学 電力発生工学 パワーエレクトロニクス 電気機器学 電気電子材料 無線伝送工学 伝送回路工学 通信網工学 電気通信関係法規 原子力工学 電気関係法規・電気施設管理 電気機器設計製図	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4
卒業要件	14単位以上修得		
卒業要件	1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目14単位以上、合計56単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目から26単位、創造工学科共通科目から23単位を含め、合計129単位以上修得すること。		
区分	授業科目名	単位数 必修 選択	開講 年次
理工学部 共通科目	線形代数A	2	1
	線形代数B	2	1
	微分積分A	2	1
	微分積分B	2	1
	微分積分C	2	2
	物理学A	2	1
	物理学B	1	1
	物理学C	1	1
	化学	2	1
	生物学	2	1
	フレッシュマンセミナー	1	1
	情報セキュリティ入門	2	1
	データサイエンス入門	2	1
プログラミング入門	2	1	
理工学部 共通科目	情報科目	2	6
卒業要件	32単位以上、主専門科目97単位以上、合計129単位以上修得すること。		
区分	授業科目名	単位数	開講 年次
理工学部 専門科目	航空宇宙機械力学	2	2
	電気電子工学	2	2
	応用解析学Ⅰ	2	2
	応用解析学Ⅱ	2	2
	知的所有権	1	4
	数値流体力学	2	3
	ロケット工学	2	3
	ジェットエンジン	2	3
	航空流体力学	2	2
	空気力学	2	2
	航空宇宙熱力学	2	2
	燃焼工学	2	2
	伝熱学	2	2
	材料力学Ⅰ	2	2
	材料力学Ⅱ	2	2
	航空宇宙構造工学Ⅰ	2	3
	航空宇宙構造工学Ⅱ	2	3
	飛行力学Ⅰ	2	2
	飛行力学Ⅱ	2	2
	宇宙航行工学	2	3
	航空宇宙制御工学Ⅰ	2	2
	航空宇宙制御工学Ⅱ	2	3
	機械図Ⅰ	1	2
機械工作法実習Ⅰ	1	2	
航空宇宙工学製図	2	3	
航空宇宙工学実験	2	3	
航空宇宙工学セミナー	2	3	
航空機設計Ⅰ	2	3	
航空宇宙工学特別講義	1	4	
宇宙機設計Ⅱ	2	3	
卒業研究Ⅰ	4	4	
卒業研究Ⅱ	6	4	
基礎科目	22単位修得		
実践科目	10単位修得		
特別講義	1単位修得		
完成科目	12単位修得		
備考	卒業要件単位数 1. 本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目76単位、選択科目21単位以上、合計97単位以上修得すること。 2. 他コース（機械システム工学コース、材料工学コース）のコース科目を修得した場合は、10単位以内に限り選択科目の単位数に含めることができる。 3. 副専門科目32単位以上、主専門科目97単位以上、合計129単位以上修得すること。		

新

創造工学 専攻 科目 共通 科目 (夜間主コース)	工業物理基礎実験 化学・生物学概論 電気回路基礎 電磁気学基礎 材料の力学A 材料の力学B 流れの力学A 流れの力学B 熱力学基礎A 熱力学基礎B 計測工学 工学技術者倫理 統計的データ処理 現代情報学概論 確率統計 情報システム工学 プログラミング実践演習		1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 2 2 2 2 2 2 3 2 1 2 1 2	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	専門基礎科目	情報科目	1 6 単位修得		

卒業要件

理工学部共通科目から23単位、創造工学科共通科目から26単位、合計49単位以上修得すること。

機械系コース

区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考
		必修	選択		
必修科目	機械製図	2	2	3	3 0 単位必修
	機械工作法実習	2	2	3	
	機械工学実験	2	2	3	
	機械工学セミナーA	2	2	2	
	機械工学セミナーB	2	2	3	
	卒業研究Ⅰ	4	4	4	
	卒業研究Ⅱ	6	6	4	
	熱力学	2	2	2	
	材料力学Ⅰ	2	2	2	
	流体力学Ⅰ	2	2	2	
コース科目	機械力学Ⅰ	2	2	2	2 5 単位以上修得
	制御工学	2	2	3	
	電子回路Ⅰ	2	2	2	
	計測システム工学	2	2	3	
	機構学	2	2	2	
	材料力学Ⅱ	2	2	3	
	流体力学Ⅱ	2	2	3	
	機械力学Ⅱ	2	2	3	
	機械工学概論	1	1	3	
	ロボット工学	2	2	3	
デジタル回路	2	2	3		

旧

材料工学コース	区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考
			必修	選択		
学科共通 科目	必修科目	フレッシュマンセミナー	1	1	1	1 1 単位修得
		熱力学Ⅰ	2	1	1	
		熱力学演習	1	1	1	
		車のサイエンス	1	1	1	
		ロボティクスの基礎	1	1	1	
		航空宇宙機の基礎	2	1	1	
		実用材料科学	1	1	1	
		材料特性の基礎	1	1	1	
		コミュニケーション技法	1	1	2	
		力学演習	1	1	2	
コース科目	必修科目	材料物理解化学A	2	2	2	5 4 単位修得
		材料物理解化学B	2	2	2	
		固体物性基礎論	2	2	3	
		結晶構造学	2	2	2	
		固体化学	2	2	2	
		材料科学A	2	2	2	
		材料科学A演習	1	1	2	
		材料科学B	2	2	3	
		材料加工プロセス学	2	2	2	
		材料加工プロセス学演習	1	1	3	
コース科目	必修科目	材料精製学	2	2	3	5 4 単位修得
		複合材料学	2	2	3	
		弾塑性力学	2	2	2	
		弾塑性力学演習	1	1	3	
		材料強度学	2	2	3	
		金属材料学A	2	2	3	
		金属材料学	2	2	3	
		設計製図基礎	2	2	2	
		材料工学実験A	2	2	2	
		材料工学実験B	2	2	3	
コース科目	選択科目	材料工学実験C	2	2	3	3 科目以上修得
		科学英語	2	2	3	
		マテリアルセミナーⅠ	1	1	3	
		マテリアルセミナーⅡ	3	3	4	
		卒業研究	8	8	4	
		材料電気化学	2	2	3	
		信頼性工学	1	1	3	
		金属材料学B	1	1	3	
		セラミックス材料学	2	2	3	
		表面科学	2	2	3	
耐環境材料学	2	2	3			
材料生産技術	2	2	4			

新

伝熱工学	2	3
機械材料学	2	3
機械製作学	2	3
推進工学	2	2
航空宇宙構造力学	2	2

卒業要件

1. 本表の授業科目のうち、必修科目30単位、選択科目25単位以上、合計55単位以上修得すること。
2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。
3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、航空宇宙工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース電気系コースのコース科目を修得した場合は、本表の選択科目の単位数に含めることができる。

電気系コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
必修科目	電磁気学	2	2	2	
	電磁気学演習	2	2	2	
	電気回路	2	2	2	
	電気回路演習	2	2	2	
	電子回路Ⅰ	2	2	2	
	デジタル回路	2	2	3	
	計測システム工学	2	3	3	
	電子物性	2	2	2	4 2 単位必修
	工学演習	2	2	2	
	電子回路Ⅱ	2	2	3	
	半導体工学	2	3	3	
	制御工学	2	3	3	
	電気電子工学実験A	4	3	3	
	電気電子工学実験B	4	3	3	
	卒業研究	10	4	4	
	電気エネルギー変換工学	2	3	3	
	信号処理	2	3	3	4 単位以上修得
通信工学	2	3	3		
ロボット工学	2	3	3		
情報符号理論	2	3	3	1 3 単位以上修得	
電気電子材料	2	3	3		
電気通信関係法規	2	4	4		
原子力工学	2	4	4		
電気関係法規・電気施設管理	2	4	4		
電気機器設計製図	2	4	4		

卒業要件

旧

工場見学	1
------	---

備考 卒業要件単位数

1. 本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びびコース科目の必修科目88単位、選択科目9単位以上、合計97単位以上を修得すること。
2. 副専門科目32単位以上、主専門科目97単位以上、合計129単位以上修得すること。

機械航空創造系学科（夜間主コース）

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
必修科目	線形代数	2	1	1	
	解析A	3	1	1	
	解析B	3	1	1	
	解析C	2	2	2	1 7 単位修得
	基礎物理A	2	1	1	
	基礎物理B	2	1	1	
	物理学実験	1	1	1	
	情報メディア基礎	2	1	1	
	基礎化学	2	2	1	
	図学	1	1	1	
選択科目	短期インターンシップ	2	2	1	1 科目修得可能
	長期インターンシップ	3	3	3	
	工業数学	2	1	1	
	ベクトル解析	2	1	1	
	線形空間入門	2	1	1	
	機械製図	1.5	2	2	
	工作法実習	1.5	3	3	
	機械航空創造系実験	1.5	3	3	
	機械航空創造系セミナーA	2	3	3	
	機械航空創造系セミナーB	2	3	3	
必修科目	卒業研究Ⅰ	4	4	4	
	卒業研究Ⅱ	6	4	4	
	熱力学	2	1	1	
	材料力学	2	2	2	
	機械航空創造系演習	0.5	2	2	
	流体力学	2	2	2	
	機械力学	2	2	2	2 9 単位修得
	制御工学	2	2	3	
	機械航空創造系概論	1	2	2	
	機構学	2	2	1	

学科科目

新

1. 本表の授業科目のうち、必修科目42単位、選択科目13単位以上、合計55単位以上を修得すること。
 2. 一般教養教育21単位、理工学部共通科目23単位、夜間主コース共通科目26単位を含め、合計125単位以上修得すること。
 3. 昼間コース（機械ロボット工学コース、電気電子工学コース）のコース科目、夜間主コース機械系コースのコース科目を修得した場合は、9単位以内に限り選択科目B群の単位数に含めることができる。

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
理工学部共通科目	線形代数A	2	1	1	
	線形代数B	2	1	1	
	微分積分A	2	1	1	1 0 単位修得
	微分積分B	2	1	1	
	微分積分C	2	2	2	
	物理学A	2	1	1	4 単位修得
	物理学B	1	1	1	
	物理学C	1	1	1	
	化学		2	1	2 単位修得
	生物学		2	1	
	環境科学		2	2	4 単位修得
	フレッション・セミナー		1	1	
	知的財産所有権論		1	3	
情報セキュリティ入門		2	1		
データサイエンス入門		2	1	6 単位修得	
プログラミング入門		2	1		
システム理化学科共通科目	基礎物理実験	1	2	2	
	化学実験	1	1	1	
	基礎生物学	2	1	1	
	基礎化学	2	1	1	
	物質科学	2	2	2	1 7 単位修得
	振動・波動論	2	2	2	
	物質変換論	2	2	2	
	生物物質化学	2	2	2	
	理工学概論	1	2	2	
	理工学技術者倫理	2	3	3	
	地球科学入門		1	1	
	統計的データ分析	2	2	2	
	現代情報学概論	2	2	2	
確率論	2	2	2	1 0 単位修得	
理工学情報演習	1	2	2		
プログラミング演習	2	2	2		

旧

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
理工学部共通科目	伝熱工学		2	2	
	機械材料科学		2	3	
	機械加工工学		2	3	
	計測工学		2	2	
	機械システム設計学		2	3	
	流体機械		2	4	
	空気が力学		2	2	
	推進工学		2	2	
	航空宇宙構造力学		2	2	
	材料プロセス学		2	3	
	材料強度学		2	3	
	計算機システム		2	3	
	線形システム論		2	3	2 単位以上修得
確率・統計		2	3		
電子回路		2	2		
工業経済論		2	4		

備考 卒業要件単位数

1. 本表の授業科目のうち、基礎科目及び学科科目から必修科目46単位、選択科目44単位、合計90単位以上を修得すること。
 2. 昼間コース（全学科）の学科共通科目及びコース科目、他学科（夜間主コース）の学科科目を修得した場合は、30単位以内に限り選択科目の単位数に含めることができる。ただし、夜間主コース副専門教育課程の規定により修得した昼間コース科目の単位と合わせて、30単位を超えることはできない。
 3. 副専門科目34単位以上、主専門科目90単位以上、合計124単位以上を修得すること。

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
基礎科目	基礎物理A (応理)	2	1	1	
	基礎物理B (応理)	2	1	1	
	物理学実験 (応理)	1	1	1	
	線形代数 (応理)	2	1	1	
	解析A (応理)	3	1	1	
	解析B (応理)	3	1	1	2 2 単位修得
	解析C (応理)	2	2	2	
	基礎化学 (応理)	2	1	1	
	化学実験 (応理)	1	1	1	
	情報メディア基礎 (応理)	2	1	1	
	技術者倫理 (応理)	2	3	3	
	図学 I (応理)		1	1	
	地域インターンシップ		2	2	1 科目修得可能
長期インターンシップ		2	2		
長期インターンシップ		3	3		
線形空間入門		2	2	1	
生物学入門 (応理)		1	1	1	
環境科学入門		1	1	2 単位修得	

新

旧

情報システム概論		1	2	1	1
卒業要件 理工学部共通科目から26単位、システム理化学科共通科目から27単位、合計53単位以上修得すること。					
応用科学コース					
現代工学の課題				1	1
地球科学入門 (応理)				1	1
物理学質システムコース					
区分	授業科目名	単位数 必修	選択	開講 年次	備考
必修科目	熱力学	2		2	
	熱力学演習	1		2	
	電磁気学A	2		2	
	電磁気学演習	1		2	
	力学A	1		2	
	力学B	1		2	
	力学演習	1		2	
	物理物質プレゼンテーション技法	1		2	
	物理数学	2		3	
	物理数学演習	1		3	
	結晶構造学	2		2	
	物理物質学実験A	2		3	
	物理化学	2		3	
	固体物理A	2		3	
	電磁気学B	2		3	
	量子力学A	2		3	
	統計力学	2		3	
	物理物質学実験B	2		3	
	量子力学B	2		3	
	固体物理B	2		3	
光学	2		3		
科学英語	1		3		
ゼミナール	2		4		
卒業研究	8		4		
応用力学A		1	3		
応用力学B		1	3		
量子物質科学A		1	3		
量子物質科学B		1	3		
量子物質科学C		1	3		
量子物質科学D		1	3		
光物理工学A		1	3		
光物理工学B		1	3		
材料科学A		1	3		
材料科学B		1	3		
4 6 単位必修					
選択科目					
必修科目	授業科目名	単位数 必修	選択	開講 年次	備考
必修科目	フレッシコミュニティセミナー	1		1	
	物質科学	2		1	
	熱力学	2		1	
	有機化学A	2		1	
	物理化学A	2		1	
	生命科学	2		1	
	化学工学基礎	2		1	
	ゼミナール	2		4	
	卒業研究	8		4	
	物理化学B	2		2	
	移動論	2		2	
	情報処理	1		2	
	有機化学B	2		2	
	生化学A	2		2	
	分析化学実験	1.5		2	
物理化学実験	1.5		2		
有機化学実験A	1.5		3		
化学工学実験B	1.5		3		
化学工学実験A	1.5		3		
安全管理工学	1		3		
知的財産所有権論	1		3		
応用化学情報演習	1		2		
応用化学英語演習	1		2		
応用化学プレゼンテーション技法	1		3		
化学システム工学		2	2		
反応速度論		2	2		
無機化学		2	2		
物理化学C		2	3		
分析化学		2	2		
反応工学		2	3		
拡散単位操作		2	3		
機械的単位操作		2	3		
遺伝子工学		2	3		
微生物科学		2	3		
生化学B		2	3		
微生物工学		2	3		
環境生物工学		2	3		
1 0 単位以上修得					
コース科目					

新		旧		
卒業要件	材料科学C	1	3	
	材料科学D	1	3	
	物理物質工場見学	1	2	
	有機化学C		2	
	生物有機化学		2	
	細胞生物学		2	
	生物システム科学		3	
	量子化学		2	
	分子光学		2	
	環境化学		2	
卒業要件	計測工学		2	
	プロセス設計		2	
	設計論		2	
	有機合成化学		2	
	有機構造解析学		2	
	生物工学実験	1.5	3	
	応用化学工場見学		1	
	応用力学		2	
	生体機能材料科学		2	
	半導体物理学		1	
必修科目	誘電体物理学		1	
	光デバイス		1	
	レーザー工学		1	
	超伝導		1	
	磁性		1	
	卒業要件単位数			
	備考	卒業要件単位数		
	1	本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目66.5単位、選択科目27.5単位以上、合計94単位以上修得すること。		
	2	他学科（居間コース）の学科共通科目及びコース科目を修得した場合、4単位以内に限りコース科目の選択科目の単位数に含めることができる。		
	3	副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。		
コース科目	バイオシステムコース			
	区分	授業科目名	単位数 必修 選択	
	学科共通科目	必修科目	フレッシユマンセミナー	1
		物質科学		2
		熱力学		2
		有機化学A		2
		物理化学A		2
		生命科学		2
		化学工学基礎		2
		ゼミナール		2
卒業研究			8	
物理化学B			2	
移動論		2		
情報処理		1		
有機化学B		2		
生化学A		2		
微生物科学A		2		
備考	バイオシステムコース			
1	本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目66.5単位、選択科目27.5単位以上、合計94単位以上修得すること。			
2	他学科（居間コース）の学科共通科目及びコース科目を修得した場合、4単位以内に限りコース科目の選択科目の単位数に含めることができる。			
3	副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。			
卒業要件	材料科学C	1	3	
	材料科学D	1	3	
	物理物質工場見学	1	2	
必修科目	物理化学A	2	2	
	物理化学B	2	2	
	有機化学A	2	2	
	有機化学B	2	2	
	生化学A	2	2	
	生化学B	2	2	
	流れ学A	2	3	
	流れ学B	2	3	
	物理化学実験	1	3	
	分析化学および実験	3	3	
有機化学実験	1	3		
生物化学実験	1	3		
化学プロセス生産論および実験実習	3	3		
安全管理	1	3		
化学生物プロセスエンジニアリング	1	3		
ゼミナール	2	4		
卒業研究	8	4		
無機化学A	1	3		
無機化学B	1	3		
物理化学C	2	3		
物理化学D	2	3		
環境化学	2	3		
高分子化学A	1	3		
高分子化学B	1	3		
化学基礎演習A	1	3		
化学基礎演習B	1	3		
有機化学C	2	3		
有機化学D	2	3		
有機合成化学	2	3		
有機構造解析学	2	4		
有機化学演習	1	3		
微生物科学A	2	2		
備考	バイオシステムコース			
1	本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目66.5単位、選択科目27.5単位以上、合計94単位以上修得すること。			
2	他学科（居間コース）の学科共通科目及びコース科目を修得した場合、4単位以内に限りコース科目の選択科目の単位数に含めることができる。			
3	副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。			
卒業要件	材料科学C	1	3	
	材料科学D	1	3	
	物理物質工場見学	1	2	
必修科目	物理化学A	2	2	
	物理化学B	2	2	
	有機化学A	2	2	
	有機化学B	2	2	
	生化学A	2	2	
	生化学B	2	2	
	流れ学A	2	3	
	流れ学B	2	3	
	物理化学実験	1	3	
	分析化学および実験	3	3	
有機化学実験	1	3		
生物化学実験	1	3		
化学プロセス生産論および実験実習	3	3		
安全管理	1	3		
化学生物プロセスエンジニアリング	1	3		
ゼミナール	2	4		
卒業研究	8	4		
無機化学A	1	3		
無機化学B	1	3		
物理化学C	2	3		
物理化学D	2	3		
環境化学	2	3		
高分子化学A	1	3		
高分子化学B	1	3		
化学基礎演習A	1	3		
化学基礎演習B	1	3		
有機化学C	2	3		
有機化学D	2	3		
有機合成化学	2	3		
有機構造解析学	2	4		
有機化学演習	1	3		
微生物科学A	2	2		
備考	バイオシステムコース			
1	本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目66.5単位、選択科目27.5単位以上、合計94単位以上修得すること。			
2	他学科（居間コース）の学科共通科目及びコース科目を修得した場合、4単位以内に限りコース科目の選択科目の単位数に含めることができる。			
3	副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。			
卒業要件	材料科学C	1	3	
	材料科学D	1	3	
	物理物質工場見学	1	2	
必修科目	物理化学A	2	2	
	物理化学B	2	2	
	有機化学A	2	2	
	有機化学B	2	2	
	生化学A	2	2	
	生化学B	2	2	
	流れ学A	2	3	
	流れ学B	2	3	
	物理化学実験	1	3	
	分析化学および実験	3	3	
有機化学実験	1	3		
生物化学実験	1	3		
化学プロセス生産論および実験実習	3	3		
安全管理	1	3		
化学生物プロセスエンジニアリング	1	3		
ゼミナール	2	4		
卒業研究	8	4		
無機化学A	1	3		
無機化学B	1	3		
物理化学C	2	3		
物理化学D	2	3		
環境化学	2	3		
高分子化学A	1	3		
高分子化学B	1	3		
化学基礎演習A	1	3		
化学基礎演習B	1	3		
有機化学C	2	3		
有機化学D	2	3		
有機合成化学	2	3		
有機構造解析学	2	4		
有機化学演習	1	3		
微生物科学A	2	2		
備考	バイオシステムコース			
1	本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目66.5単位、選択科目27.5単位以上、合計94単位以上修得すること。			
2	他学科（居間コース）の学科共通科目及びコース科目を修得した場合、4単位以内に限りコース科目の選択科目の単位数に含めることができる。			
3	副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。			

新		旧	
目 A	微生物科学B	2	2
	細胞生物学	2	2
	分子生物学A	1	1.5
	分子生物学B	1	1.5
	応用微生物学	2	1.5
	生物システム科学	2	1
	バイオ演習	1	1
	輸送現象論	2	1
	化学反応操作	2	1
	物質分離操作	2	1
	化学プロセス制御	2	2
	流体力学A演習	1	2
	流体力学B演習	1	2
	企業見学	1	2
	食品科学	1	2
材料科学	1	2	
食品生産論	1	2	
材料生産論	1	2	
選択科目B	4	3	
卒業要件	11	10	
1. 本表の授業科目のうち、必修科目37単位、選択科目15単位以上、選択科目Aから11単位以上、選択科目Bから2単位以上)、合計52単位以上修得すること。 2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単 位以上を含め、合計129単位以上修得すること。			
数理情報システムコース		コース科目	
区分	授業科目名	単位数 必修 選択	開講 年次
A 群	情報学基礎演習A	1	2
	情報学基礎演習B	1	3
	情報学PBL演習	1	3
	表現技術演習	2	2
	情報学応用演習A	1	3
	情報学応用演習B	1	3
	技術英語	2	2
	基礎情報学演習	1	3
	情報学ゼミナール	1	3
	卒業研究	8	4
	データ構造とアルゴリズム	2	2
	情報数学	2	2
	数学概論	2	2
	プログラミングA	2	2
	応用数学	2	3
データベース	2	3	
信号処理	2	3	
B 群	分析化学実験	1.5	2
	物理化学実験	1.5	2
	有機化学実験	1.5	3
	生化学実験	1.5	3
	化学工学実験A	1.5	3
	安全管理工学	1	3
	知的財産所有権論	1	3
	バイオシステム情報演習	1	2
	バイオシステム英語演習	1	2
	バイオシステムプレゼンテー ション技法	1	3
	遺伝子工学	2	3
	微生物科学	2	3
	生化学B	2	2
	微生物工学	2	3
	環境生物工学	2	3
有機化学C	2	2	
生物有機化学	2	2	
細胞生物学	2	3	
生物システム科学	2	3	
化学システム工学	2	2	
反応速度論	2	2	
無機化学	2	2	
物理化学C	2	2	
分析化学	2	3	
反応工学	2	3	
拡散単位操作	2	3	
機械的単位操作	2	3	
量子化学	2	3	
分子分光学	2	3	
環境化学	2	3	
計測工学	2	2	
プロセス設計 設計論	2	3	
有機合成化学	2	3	
有機構造解析学	2	3	
化学工学実験B	1.5	3	
バイオシステム工場見学	1	3	
応用力学	2	3	
生体機能材料科学	2	3	
半導体物理学	1	3	
誘電体物理学	1	3	
光デバイス	1	3	
レーザー工学	1	3	
超伝導	1	3	
必修科目			21. 5 単位修得
選択科目 A			1 2 単位以上修得
選択科目 B			1 9 単位必修
選択科目 C			8 単位必修
選択科目			4 単位まで選択可能

新		旧		
科目	単位数	磁性	卒業要件単位数	備考
プログラミングB	2		3	
代数学	2		3	
幾何学	2		3	
解析学	2		3	
情報理論	2		3	
言語処理系論	2		3	
最適化理論	2		3	
論理回路	2		3	
教論アルゴリズム	2		3	
人工知能	2		3	
認識と学習	2		3	
情報学特別講義A	1		3	
情報学特別講義B	1		3	
情報学特別講義C	1		3	
情報学特別講義D	1		3	
情報学特別講義E	1		4	
情報学特別講義F	1		4	
卒業要件				
1. 本表の授業科目のうち、必修科目27単位、選択科目25単位以上、合計52単位以上修得すること。				
2. 一般教養教育24単位、理工学部共通科目26単位、システム理化学科共通科目27単位以上を含め、合計129単位以上修得すること。				
C) 群				
2.5単位以上修得				
備考 卒業要件単位数 1 本表の授業科目のうち、基底科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目66.5単位、選択科目27.5単位以上、合計94単位以上修得すること。 2 他学科(居間コース)の学科共通科目及びコース科目を修得した場合は、4単位以内に限りにコース科目の選択科目の単位数に含めることができる。 3 副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。				
応用物理コース				
区分	授業科目名	単位数	開講年次	備考
学科共通科目	フレッシュマンセミナー	1	1	
	物質科学	2	1	
必修科目	熱力学	2	1	
	有機化学A	2	1	
	物理化学A	2	1	2,3単位修得
	生命科学	2	1	
	化学工学基礎	2	1	
	ゼミナール	2	4	
	卒業研究	8	4	
	固体物理A	2	2	
	固体物理B	2	3	
	電磁気学A	2	2	
	電磁気学演習	1	2	
	電磁気学B	2	2	
振動・波動論	2	2		
量子論	2	2		
固体の力学	2	2		
物理数学	2	2		
物理数学演習	1	2	3,4単位修得	
生物物理	2	3		
量子力学	2	3		
統計熱力学	2	3		
応用光学	2	3		
科学英語	1	3		
応用ブレゼンション技法	1	2		
応用物理学実験A	2	2		
応用物理学実験B	2	3		
応用物理学実験C	2	3		
応用力学	2	3		
生体機能材料科学	2	3		
半導体物理学	1	3		
誘電体物理学	1	3		
光デバイス	1	3		
レーザー工学	1	3		
超伝導	1	3		
コース科目				

新

旧

選択科目	磁性	単位数	開講 年次	備考
応用物理工場見学		1	3	
量子化学		1	1	
分子分光学		2	3	
環境化学		2	3	
無機化学		2	3	
計測工学		2	2	6 単位まで選択可能
プロセス設計		2	3	
設計論		2	3	
有機合成化学		2	3	
有機構造解析学		2	3	

備考 卒業要件単位数

- 1 本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目79単位、選択科目15単位以上、合計94単位以上修得すること。
- 2 他学科（居間コース）の学科共通科目及びコース科目を修得した場合は、3 単位以内に限りにコース科目の選択科目の単位数に含めることができる。
- 3 副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。

情報電子工学系学科（居間コース）

区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考
		必修	選択		
必修科目	線形代数（情電）	2		1	
	解析A（情電）	3		1	
	解析B（情電）	3		1	
	解析C（情電）	2		2	1 6 単位修得
	基礎物理A（情電）	2		1	
	基礎物理B（情電）	2		1	
	技術者倫理（情電）	2		3	
	基礎化学（情電）	2		1	
	情報メディア基礎（情電）		2	2	
	地域インターンシップ		2	2	
	短期インターンシップ		2	2	1 科目修得可能
	長期インターンシップ		3	3	
選択科目	線形空間入門		2	1	
	生物学入門（情電）		1	1	
	環境科学入門		1	1	
	現代工学の課題		1	1	
	地球科学入門（情電）		1	1	2 単位修得

新

旧

電気電子工学コース

区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考
		必修	選択		
学科共通 科目	フレッシュマンPBLセミナー	1		1	
	情報リテラシー演習	1		1	
	プログラミング演習	3		1	
	基礎電磁気学	2		1	1 7 単位修得
	基礎電気回路	2		1	
	卒業研究	8		4	
	電磁気学Ⅰ	3		2	
	電気回路Ⅰ	3		2	
	プログラミング応用演習	2		2	
	計算機工学Ⅰ	2		2	
	電磁気学Ⅱ	3		2	
	電気回路Ⅱ	3		2	
	計算機工学Ⅱ	2		2	
必修科目	電子回路Ⅰ	2		2	
	計測工学	2		2	
	電子物性	2		2	
	工学演習Ⅰ	2		2	
	電磁気学Ⅲ	1		2	4 4 単位修得
	電気回路Ⅲ	2		2	
	電子回路Ⅱ	2		2	
	半導体工学	2		2	
	制御工学	2		2	
	電磁エネルギー変換工学	2		2	
	電気電子工学実験A	3		3	
	電気電子工学実験B	3		3	
	工学演習Ⅱ	1		3	
選択科目	信号処理		2	3	
	通信工学		2	3	
	高圧工学		2	3	
	送配電工学		2	3	
	電力発生工学		2	3	
	パワーエレクトロニクス		2	3	
	電気機器学		2	3	
	システム制御工学		2	3	
	電気電子材料		2	3	
	光エレクトロニクス		2	3	
	原子力工学		1	4	
	電気関係法規・電気施設管理		1	4	
	電気機器設計製図		2	4	

	光エレクトロニクス		2	3
	電気通信関係法規		1	4

備考 卒業要件単位数

- 1 本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目77単位、選択科目17単位以上、合計94単位以上修得すること。
- 2 副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。
- 3 各間コース電気電子工学コースのコース科目のうち、高電圧工学、送配電工学、電力発生工学、パワーエレクトロニクス、電気機器学、原子力工学、電気関係法規・電気施設管理、電気機器設計製図の単位を取得した場合には、コース科目の選択科目に含まれることができる。

情報システム学コース

区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考
		必修	選択		
学科共通 科目	フレッシュマンPBLセミナー	1		1	
	情報リテラシー演習	1		1	
	プログラミング演習	3		1	
	基礎電磁気学	2		1	17単位修得
	基礎電気回路	2		1	
	卒業研究	8		4	
	情報システム学演習	1		2	
	情報工学PBL：システム開発演習	1		2	
	コンピュータ知能学実験	1.5		3	
	情報システム学実験	1.5		3	10単位修得
A群	情報工学PBL：表現技術	2		3	
	技術英語	2		3	
	情報システム学総合演習	1		3	
	情報数学	2		2	
	現代社会と情報工学	2		2	
	データ構造とアルゴリズム	2		2	
	計算機システム	1		2	
	オペレーティングシステム	1		2	16単位修得
	ソフトウェア工学	2		2	
	情報ネットワーク	2		2	
B群	確率・統計	2		2	
	オブジェクト指向言語	2		2	
	組込みシステム		2	3	
	システム工学		2	3	2単位以上修得
	線形システム論		2	3	
	情報と職業		2	2	
	数値解析		2	2	
	言語処理系論		2	3	
	電子情報回路		2	3	
	ディジタル信号処理		2	3	
コース科目	データベース		2	3	
	情報理論		2	3	

D群	視覚情報処理	2	3
	教論アルゴリズム	2	3
	情報関連法規	1	3
	認識と学習	2	3
	人工知能	2	3
	マルチメディア工学	2	3
	応用数理工学	2	2
	計算機代数システム	2	3
	形の数理	2	3
	研究課題調査	1	3

備考 卒業要件単位数

1 本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコアコース科目の必修科目59単位、選択科目35単位以上、合計94単位以上修得すること。

2 副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。

コンピュータ知能学コース

区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考
		必修	選択		
学科共通 科目	フレッシマンPBLセミナー	1		1	
	情報リテラシー演習	1		1	
	プログラミング演習	3		1	17単位修得
	基礎電磁気学	2		1	
	基礎電気回路	2		1	
	卒業研究	8		4	
	コンピュータ知能学演習	1		2	
	情報工学PBL：システム開発演習	1		2	
	コンピュータ知能学実験	1.5		3	10単位修得
	情報システム学実験	1.5		3	
A群	情報工学PBL：表現技術	2		3	
	技術英語	2		3	
	コンピュータ知能学総合演習	1		3	
	情報数学	2		2	
	現代社会と情報工学	2		2	
	データ構造とアルゴリズム	2		2	
	計算機システム	1		2	
	オペレーティングシステム	1		2	16単位修得
	ソフトウェア工学	2		2	
	情報ネットワーク	2		2	
B群	確率・統計	2		2	
	オプジェクト指向言語	2		2	
	視覚情報処理	2		2	
	認識と学習	2		3	2単位以上修得
	人工知能	2		3	
	情報と職業	2		2	
	数値解析	2		2	
	視覚情報処理	2		2	
	認識と学習	2		3	
	人工知能	2		3	
コース 目	視覚情報処理	2		3	
	認識と学習	2		3	
	人工知能	2		3	
	情報と職業	2		2	
	数値解析	2		2	
	視覚情報処理	2		2	
	認識と学習	2		3	
	人工知能	2		3	
	情報と職業	2		2	
	数値解析	2		2	

新

旧

D群	言語処理系論	2	2	3
	電子情報回路	2	2	3
	デジタル信号処理	2	2	3
	線形システム論	2	2	3
	データベース	2	2	3
	情報理論	2	2	3
	組み込みシステム	2	2	3
	数論アルゴリズム	2	2	3
	情報関連法類	1	1	3
	システム工学	2	2	3
	マルチメディア工学	2	2	3
	応用数理工学	2	2	2
	計算機代数システム	2	2	3
	形の数理	2	2	3
	研究課題調査	1	1	3

備考 卒業要件単位数

1 本表の授業科目のうち、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の必修科目59単位、選択科目35単位以上、合計94単位以上修得すること。

2 副専門科目32単位以上、主専門科目94単位以上、合計126単位以上修得すること。

情報電子工学系学科 (夜間主コース)

区分	授業科目名	単位数		開講 年次	備考
		必修	選択		
基礎科目	線形代数	2		1	1 7 単位修得
	解析 A	3		1	
	解析 B	3		1	
	解析 C	2		2	
	基礎物理 A	2		1	
	基礎物理 B	2		1	
	物理学実験	1		1	
	情報メディア基礎	2		1	
	基礎化学	2		1	
	短期インターンシップ		2		
長期インターンシップ		3			
選択科目	工業数学	2		1	2 5 単位修得
	ベクトル解析	2		1	
	線形空間入門	2		1	
	プログラミング	2		1	
	フレッシュマンセミナー	1		1	
	電磁気学 I	2		2	
	電気回路 I	2		2	
	情報工学演習 A	2		2	
	情報工学演習 B	2		2	
	卒業研究	8		4	
データ構造とアルゴリズム		2	2		
電磁気学 II		2	2		

新

旧

新	旧																																																																		
学科科目	<table border="1"> <tr> <td>電気回路Ⅱ</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>電子回路</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計測工学</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ディジタル信号処理</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア工学</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>現代社会と情報工学</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>制御工学</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計算機システム</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>線形システム論</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>確率・統計</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>電子物性</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>マルチメディア工学</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>言語処理系論</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>半導体工学</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>通信工学</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学演習</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>情報工学演習C</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>情報工学演習D</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学実験</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>情報関連法規</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>工業経済論</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>情報と職業</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </table>	電気回路Ⅱ	2	2	電子回路	2	2	計測工学	2	2	ディジタル信号処理	2	2	ソフトウェア工学	2	2	現代社会と情報工学	2	2	制御工学	2	3	計算機システム	2	3	線形システム論	2	3	確率・統計	2	3	電子物性	2	3	マルチメディア工学	2	3	言語処理系論	2	2	半導体工学	2	4	通信工学	2	3	電気電子工学演習	2	3	情報工学演習C	2	3	情報工学演習D	2	3	電気電子工学実験	2	3	情報関連法規	1	3	工業経済論	2	4	情報と職業	2	4
電気回路Ⅱ	2	2																																																																	
電子回路	2	2																																																																	
計測工学	2	2																																																																	
ディジタル信号処理	2	2																																																																	
ソフトウェア工学	2	2																																																																	
現代社会と情報工学	2	2																																																																	
制御工学	2	3																																																																	
計算機システム	2	3																																																																	
線形システム論	2	3																																																																	
確率・統計	2	3																																																																	
電子物性	2	3																																																																	
マルチメディア工学	2	3																																																																	
言語処理系論	2	2																																																																	
半導体工学	2	4																																																																	
通信工学	2	3																																																																	
電気電子工学演習	2	3																																																																	
情報工学演習C	2	3																																																																	
情報工学演習D	2	3																																																																	
電気電子工学実験	2	3																																																																	
情報関連法規	1	3																																																																	
工業経済論	2	4																																																																	
情報と職業	2	4																																																																	
	<p>備考 卒業要件単位数</p> <p>1 本表の授業科目のうち、基礎科目及び学科科目から必修科目42単位、線形システム論あるいは確率・統計を含めて選択科目から48単位以上、合計90単位以上修得すること。</p> <p>2 昼間コース（全学科）の学科共通科目及びコース科目を修得した場合は、30単位以内に限り選択科目の単位数に含めることができる。ただし、夜間主コース副専門教育課程の規定により修得した昼間コース科目の単位と合わせて、30単位を超えることはできない。</p> <p>3 他学科（夜間主コース）の学科科目を修得した場合は、6単位以内に限り選択科目の単位数に含めることができる。</p> <p>4 副専門科目34単位以上、主専門科目90単位以上、合計124単位以上修得すること。</p>																																																																		

別表第3 (第10条関係)
一般教養教育課程 (昼間コース)

別表第3 (第10条関係)
副専門教育課程
昼間コース

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
外国語科目	フレッシュマン英語演習	1		1	9単位以上修得
	英語リーディング演習A	1		1	
	英語リーディング演習B	1		2	
	英語総合演習	1		2	
	英語コミュニケーションI	1	1	2	
	英語コミュニケーションII	1	1	3	
	TOEIC英語演習I	1		1	
	TOEIC英語演習II	2		3	
	ドイツ語	1	1	1	
	中国語	1	1	1	
	地域社会概論	1		1	
	胆振学入門		1	1	
	北海道産業論A		1	3	
	北海道産業論B		1	3	
	北海道産業論C		1	3	
インター・テクノロジーA		1	3		
インター・テクノロジーB		1	4		
平和学		1	1		
哲学入門		1	1		
こころの科学		1	1		
経済のしくみ		1	1		
日本の憲法		2	1		
現代社会論		2	1		
現代民主主義論		2	1		
現代心理学		2	1		
運動の科学		2	1		
経済事情		2	1		
医の科学		2	1		
メンタルヘルズ論		2	1		
青少年と文化		2	1		
異文化交流A		2	1		
ドイツの文化		1	1~2		
中国の文化		1	1~2		
環境経済論		2	2		
基本的人権論		2	2		
地方自治論		2	2		
感性の科学		2	2		
国際文化論		2	2		
異文化交流B		2	2		
地域再生システム論		2	1		
キャリアデザイン		2	2		

区分	授業科目名	単位数		開講年次	備考
		必修	選択		
地域科目	地域社会概論	1		1	2単位修得
	胆振学入門		1	1	
	北海道産業論A		1	3	
	北海道産業論B		1	3	
	北海道産業論C		1	3	
	インター・テクノロジーA		1	3	
	インター・テクノロジーB		1	4	
	フレッシュマン英語演習		1	1	
	英語リーディング演習A		1	1	
	英語リーディング演習B		1	2	
	英語総合演習		1	2	
	英語コミュニケーションI		1	2	
	英語コミュニケーションII		1	3	
	TOEIC英語演習I		1	3	
	TOEIC英語演習II		2	3	
ドイツ語I		1	1		
ドイツ語II		1	1		
ドイツ語III		1	2		
ロシア語I		1	1		
ロシア語II		1	1		
ロシア語III		1	2		
中国語I		1	1		
中国語II		1	1		
中国語III		1	2		
スポーツ実習a		1	1		
スポーツ実習b		1	1		
スポーツ実習c		1	1		
スポーツ実習d		1	1		
社会体験実習		1	1		
臨海実習		1	1		
海外語学研修		2	1		
海外研修		1	1		
日本の憲法		2	1		
地域再生システム論		2	1		
社会思想論		2	1		
現代の社会A		1	1		
経済のしくみA		1	1		
哲学入門A		1	1		
哲学入門B		1	1		
経済のしくみB		1	1		
現代の社会B		1	1		

新

別表第4 (第11条関係)
教職課程

区分	授業科目名	単位数	開講年次	備考
教育の基礎的理解に関する科目等	教育学概論	2	1	
	教職原論	2	1	
	教育と社会	2	2	
	教育心理学	2	2	
	特別支援教育論	2	3	
	総合的な学習の時間・教育課程論	2	2	2・3単位修得
	特別活動・教育方法論	2	3	
	生徒指導・進路指導	2	3	
	教育相談	2	4	
	教育実習	3	4	
	教職実践演習(高)	2	4	
	理科教育法A	2	3	
	理科教育法B	2	3	
	数学教育法A	2	3	該当する教科教育法
数学教育法B	2	3	から4単位選択必修	
工業教育法A	2	4		
工業教育法B	2	4		
職業指導	2	2	2	工業のみ必修

旧

別表第4 (第11条関係)
教職課程

区分	授業科目名	単位数	開講年次	備考
教職に関する科目	教職原論	2	2	
	教育学概論	2	2	
	教育心理学	2	2	
	学習・発達論	2	3	
	教育内容論	2	2	
	理科教育法I	2	3	
	理科教育法II	2	3	
	数学教育法I	2	3	
	数学教育法II	2	3	該当する教科教育法
	情報教育法I	2	3	から2単位選択必修
	情報教育法II	2	3	
	工業教育法I	2	3	
	工業教育法II	2	3	
	教育方法論	2	3	
進路指導	2	3		
教育相談	2	4		
教育実習	3	4		
教職実践演習(高)	2	4		
職業指導	2	2	2	工業のみ必修

(設置)

第1条 室蘭工業大学（以下「本学」という。）に、教授会を置く。

(組織)

第2条 教授会は、次に掲げる者をもって組織する。ただし、第5号に規定する者は、国立大学法人室蘭工業大学職員就業規則（平成16年室工大規則第10号）第26条第1項に定める教員の定年退職日に達しない者とする。

- (1) 学長
- (2) 教授
- (3) 准教授
- (4) 専任の講師
- (5) 室蘭工業大学特任教員に関する規則（平成17年度室工大規則第23号）第3条第1項第1号から第3号までに規定する特任教授、特任准教授及び特任講師

(審議事項)

第3条 教授会は、次に掲げる事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学及び卒業
 - (2) 学位の授与
 - (3) 学則その他の教育研究に係る重要な規則の制定又は改廃（軽微な改正は除く。）
 - (4) 教育研究上の重要な組織の設置又は改廃
 - (5) 学生の除籍及び懲戒
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

(審議事項の委譲)

第4条 教授会が必要と認めるときは、教授会の審議事項の一部を他の機関に審議させることができる。

2 教授会は、前項により他の機関において審議された事項について、他の機関での議決をもって教授会の議決とすることができる。

(議長)

第5条 教授会に議長を置き、学長をもって充てる。

- 2 議長は、教授会を主宰する。
- 3 議長に事故があるときは、教育研究評議会の構成員であり、かつ、教授会構成員である者の中から議長の指名した者がその職務を代行する。

(定足数)

第6条 教授会は、構成員の2分の1以上の出席がなければ議事を開き、議決することができない。

2 外国出張、海外研修旅行、休職、停職中の者及び療養中の者は、定足数の計算の外に置くものとする。

(議決)

第7条 教授会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(構成員以外の者の出席)

第8条 学長が必要と認めるときは、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

2 前項による出席者は、議決に加わることができない。

(事務)

第9条 教授会に関する事務は、総務広報課で処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、教授会に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成18年度室工大規則第27号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年度室工大規則第16号）

この規則は、平成21年10月9日から施行する。

附 則（平成24年度室工大規則第7号）

この規則は、平成24年7月5日から施行する。

附 則（平成26年度室工大規則第34号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年度室工大規則第37号）

この規則は、平成28年7月1日から施行する。